

Social Action Report

ソーシャルアクション報告書 2023-2024



はじめに Message from FTC」

2023年4月～2024年3月の期間を通じて、人や地球のことを考えアクションを起こし、ご報告くださった25歳以下のチェンジメーカーの皆さん、より良い世界のために工夫をしながら様々な活動に取り組んでくださり、本当にありがとうございます！！

2023年4月からこども基本法が施行され、こども家庭庁が発足したことと関係しているのか、子どもの権利のことを社会に伝えたいと心を砕いて熱心に活動に取り組まれた方々が少なくなかったことに、「こどもまんなか」を目指して制定された法律と仕組みづくりが早速活かされているようで、とても嬉しくなりました。

また、世界的にコロナが落ち着き、日本を飛び出して色々な国で活動を行った様子や、日本にいながら海外に目を向けている方も多くいることがわかり、日本以外の問題についても自分ゴトとして捉えている皆さんの熱心な姿勢に大変励まされました。

その他、多様な価値観やバックグラウンドを持った人たちを大切にしよう、という想いや、待ったなしの気候変動やプラスチック問題など環境問題について、できることからアクションを起こしてくださった様子が、チェンジメーカーの皆さんのレポートから感じ、一人ひとりが動くことの大切さを痛感するとともに、私もしっかりと取組まなければと思いました。

Together, we can change the world!

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 代表 中島早苗

もくじ Contents

はじめに ... 2

アクション インパクト

Action Impact ... 3

数字で見るみんなのアクション

アクション レポート

Social Action Report

ソーシャルアクションレポートを提出してくれたみんなのアクション！

ボランティア ... 4

資金調達 ... 28

啓発活動 ... 40

政策提言 ... 75

物資調達 ... 79

自己行動変革 ... 87

“Gift（才能） + Issue（解決したい問題） = Change（変化）”

--好きなこと・得意なことを活かして、自分にできるアクションを考える--を駆使して取り組んできた1年間の記録です。今回のレポートではボランティア・資金調達・啓発活動・政策提言・物資調達・自己行動変革の6つのカテゴリーに分けレポートを紹介します。



ACTION
IMPACT

数字で見るアクションの成果

アクション インパクト

ひとりひとりがアクションを起こして
みんなの力が集まれば、社会や地球は、
大きく変わっていくはず。
全国にいる仲間といっしょに
これからもアクションを続けよう！

活動人数

1,160 人

ボランティア時間

5,608.75 時間

お金の寄付

298,781 円

影響を与えた人数

1,470 人

集めたものの重さ、数

食品

429.225 kg

食品

4 個

文房具

65 個以上

兜

20 個

FREE THE
CHILDREN

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

ボランティア



No.1

名前/グループ名/グループメンバー

earth3姉妹

人数

3人

活動地

埼玉県

区分

小学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

陸の豊かさ、海の豊かさを守る

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年 3月 1日～2023年 3月 30日



取り組んだアクション

全ての生き物が幸せに暮らせるためにゴミ拾い活動を行いました。近所のいろいろな場所を回りました。見た人が一目でわかるように大きなダンボールでプラカードを2つ製作し行いました。



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

時間

◆インパクト人数

人

◆その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

皆さんがわかる様にプラカードを持って行いました。また、「私たちにできることをしましょう」、「みんなで世界を変えていこう」などの声かけをしながらおこないました。



困難だったこと/次回に活かすこと

次はもっと人を集めてやってみたいと思いました。



これからアクションを起こす人へメッセージ

誰にでも世界を変えられることができます。私たちと一緒にアクションを起こしていきましょう。仲間はたくさんいます。あなたなら世界を変えることができます。少しの勇気をもって共に頑張っていきましょう。あなたの身近なことが世界を変えます。Together we can change the world!

No.2

名前/グループ名/グループメンバー

A M.S

人数

2人

活動地

神奈川県

区分

小学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

海洋問題

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

海が綺麗になってほしいため、辺りを見渡してビーチクリーンを行いました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

マイクロプラスチックを拾うのに時間がかかるから、落ちていた木の棒を箸にして拾っていた事です。



困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは、マイクロプラスチックを探す事です。次に活かしたい事は、マイクロプラスチックをスピーティーにできるやり方を考えたいです。



これからアクションを起こす人へメッセージ

マイクロプラスチックを探すのが困難な人は、マイクロプラスチックをスピーティーに探せる行い方を考えてみて下さい。

名前/グループ名/グループメンバー

きら

人数

1人

活動地

愛知県

区分

小学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ディスレクシア

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年6月17日



取り組んだアクション

愛知教育大学で行われた「こどもICTマイスター応援プロジェクト」に参加し、ICTを使ったディスレクシアの子どもの支援をしました。ディスレクシアは、発達障害のひとつで、書いてある文字が読みにづらく、書きたい文字が書きづらくなるものです。僕は、タブレットを使いながらディスレクシアの子どもたちが少しでも楽になるようお手伝いをしました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

30人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

タブレットの設定アプリにある、アクセシビリティから読み上げコンテンツを使って、ディスレクシアの小学生や中学生に、文章のある写真を撮ってもらい、その機能で、音声読み上げを体験してもらいました。また、スマホを使い、キーボードに打った文字の音声読み上げや、文の確認ができる機能も紹介しました。僕は、このような人のためにある活動ができて、良かったです。今回のアクションで、参加して下さったディスレクシアの人達がこんな機能があって自分達で文章を読めると思っていたことがとてもその人たちの今後に繋がるだろうなと思いました。僕はこれからも様々な困っている人を助けていこうと思います。



困難だったこと/次回に活かすこと

—



これからアクションを起こす人へメッセージ

名前/グループ名/グループメンバー

えだまめ

人数

1 人

活動地

愛知県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

笑えなくなった子達や悲しんでいる人のために画用紙で兜を作りました！

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

世界中の子ども達が喜んだり楽しんだりできるように、画用紙で実際に遊べるように兜を作りました！



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

兜 20 個

◆ ボランティア時間

3 時間

◆ インパクト人数

8 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

実際にかぶれるサイズにし、楽しんで貰えるように少しリアルに作りました



困難だったこと/次回に活かすこと

被り物にしようと思った時に、何にしようかなーと迷いました。最終的に日本の伝統？にちかい兜に決めました！



これからアクションを起こす人へメッセージ

楽しんで遊んだり、笑ったりして欲しいです！

No.5

名前/グループ名/グループメンバー

しひろ

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

難民問題など

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2024年 2月 15日



取り組んだアクション

母の働いている認定NPO法人(難民に関してを主に行っている国際NGO)へ、ボランティアに行きました。グッズの発送作業のお手伝いをしました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

ボランティアを行うことで、スタッフの皆さんが別の業務に時間を割くことができ、活動自体に貢献できたと思います。今後もこのボランティア活動を続けていきたいです。



困難だったこと/次回に活かすこと

家から少し時間がかかることもあって、他の予定があると厳しい日が多く、あまり行くことができなかった。早め早めに予定を決定することによって、行くことができる日を増やして、より団体に貢献していきたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分の家族がNGOで働いているから私は簡単に行くことができましたが、行くことができないとしても、グッズを買うだけでかなりありがたい額の寄付になるので、検討してほしいです！また、メールなどで問い合わせることで、ボランティアに参加できることも多くあるみたいです。

名前/グループ名/グループメンバー

「災害とボランティア」選択者

3名 (K、K、H)

人数

3人

活動地

兵庫県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

防災意識の向上

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間

2023年5月23日～2023年9月14日



取り組んだアクション

科目「災害とボランティア」において、地域の防災福祉コミュニティ (BOKOMI) をテーマにして社会参加型探究学習を行なった。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

実際に、学校区の社会福祉協議会の方とのインタビューも実施し、現場での問題についてお話を伺った。書籍やインターネットの情報とインタビューから得た情報を擦り合わせ、地域の防災訓練に参加する人（特に若者）が少ないことが問題であり、まずは若者の防災について知ってもらうことが必要であると考えた。そこで、防災のブースを含む地域の夏祭りに参加し、手伝いをした。それぞれの探究活動の過程をまとめて冊子を作成して、ソーシャルアクションの大切さを広めた。



困難だったこと/次回に活かすこと

防災福祉コミュニティの方から、様々なお話を伺うことができた。今回は、地域の防災訓練に参加する人が少ない（特に若者）ことに対してアクションを起こしたが、そのほかにも話していただいた問題についてもアクションを起こしたい。特に女性が避難しやすい環境づくりに興味がある。また、社会人も参加しやすい防災イベントを企画してみたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

実際にアクションを起こしてみて、どんなに疲れていても、感謝の言葉をいただくと、それが励みになって、もうちょっと頑張ろう、と思う原動力になった。コミュニケーションと言われると緊張するけれども、些細なやりとりが、その地域のコミュニティを成り立たせていると思う。

名前/グループ名/グループメンバー

わっしー

人数

10人

活動地

栃木県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子育てがしやすい地域づくり

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年4月1日～2024年2月25日



取り組んだアクション

私が住んでいる地区である、豊郷地区では、中高生のボランティア団体である『豊郷地区リーダースクラブ』があり、私は、中学1年生から活動していた。今年度は、その会長として、幼児・児童を対象に、防災訓練やリーダー講習会などを通して、様々な知見を身に着ける活動に携わった。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

幼児や児童とお話をするにあたって、相手の気持ちをより考えたり、どうやったら理解をしてもらえるのか、目線を合わせたり、言葉を考えたりして工夫をした。



困難だったこと/次回に活かすこと

子どもによって、どのように接してほしいのかが異なるため、その子に合った対応をすることが少し難しかったがとても勉強になった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

興味があることを調べてみると、様々な団体があったり、イベントがあったりと、高校生にもできるボランティア活動があることが分かります！ぜひ、調べるところから始めて、積極的にいろいろなことに挑戦してみましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

I.G

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの貧困・ヤングケアラー・外国人支援

アクションの種類 ボランティア

支援先

Art Lab Ova 横浜パラダイス会館
よこはま若葉町多文化こども企画

実施期間

2023年～2024年 3月現在



取り組んだアクション

主に外国にルーツを持つ子どもたちを対象とした寺小屋子ども食堂でのボランティア活動。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

学校とボランティアの日程調整を工夫している。一度入れた約束は守るようにしている。また、多文化共生についての学びはもとより政府からの補助金の仕組みや正しい活用方法などについても学ぶことができる。



困難だったこと/次回に活かすこと

部活動や勉強との両立。長く続けるためには無理な予定を入れないことも大切。



これからアクションを起こす人へメッセージ

ボランティアへの応募は緊張するかもしれませんが、きっと良い経験になるはずなので勇気を出してアクションを起こしてみましょう。

No.9

名前/グループ名/グループメンバー

高木萌伽

人数

5 人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

発展途上国の貧困

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2024年 3月 5日



取り組んだアクション

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのオフィスボランティアデーに参加し、フェアトレードチョコの梱包作業やオフィスに届いた寄付文房具の整理を行った。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

10 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

参加者全員が楽しく活動できるように作業の分担を工夫しました。



困難だったこと/次回に活かすこと

移動が大変でめったにオフィスに行けないが、とても楽しく活動できたし情報交換になったので、これからはたくさん参加したい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分が生きている世界を変えるのは、意外と簡単です！一緒に頑張りましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

佐藤日向

人数

12 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

発展途上国の医療ヘルスケア

アクションの種類 ボランティア

支援先 タンザニア

実施期間 2023年7月16日～2023年8月12日



取り組んだアクション

多国籍の仲間と一緒に、タンザニアの都市アルーシャの病院で、医師からタンザニアの医療の現状や患者さんの病状を聞きながら、実際に患者さんの体重や血圧を測定したり、処方薬を準備して渡す活動をした。また、幼稚園や学校で子供たちに歯磨きや手洗いの仕方を教えたり、感染症の教育活動をした。一緒に遊んだり、抱っこやおんぶをして触れ合った。この活動は、タンザニアの人々に今の自分にできる国際支援活動の初めの一步としてこのボランティアに参加した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

4080 時間

◆ インバクト人数

12 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

幼稚園生や小学生たちに衛生教育をした際に、みんなの印象に残し、覚えてもらうために現地のスワヒリ語で歌を作って歯磨きや手洗いの方法を教えた。この工夫が役に立ち、みんなが真似して歌ってくれたためとても嬉しかった。多国籍の同世代の仲間との共同生活は、一致団結して医療支援活動をしながら素晴らしい友情を築けた。



困難だったこと/次回に活かすこと

農村部の人々には簡単な英語も伝わらないため言語の壁が1番高かったと思う。また日本とは違い水道水を飲めなかったり、頻繁に停電があるなど、様々な文化や環境の違いがあった。多様性を受け入れて順応することが必要。



これからアクションを起こす人へメッセージ

この4週間が自分のターニングポイントになり、貴重な経験と大きな成長をもたらした。英語での生活、食事や文化の違いなど大変なことが沢山あるが、必ず価値ある経験になると思う。何でも良いから何か行動を起こそう。

No.11

名前/グループ名/グループメンバー

よしと

人数

1人

活動地

大阪府

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

なし

アクションの種類 ボランティア

支援先 不明

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

廃品回収



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

時間

◆インパクト人数

人

◆その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

大きいものから先に入れて小さいものを後で入れた



困難だったこと/次回に活かすこと

薄い紙がなかなかとれなかったこと



これからアクションを起こす人へメッセージ

頑張っ

No.12

名前/グループ名/グループメンバー

はる

人数

5人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

災害

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年 11月 23日～12月 31日



取り組んだアクション

災害時地域のための避難訓練（炊き出し）



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

時間

◆インパクト人数

人

◆その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

住んでいる地域ではなく、学校の地域のものに参加したため、新しい居場所での交流に成功した。



困難だったこと/次回に活かすこと

地域の輪に入るのが難しかった。輪に入りづらいことを考えて会話の時間を作るなどして交流する機会を増やしていきたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

1人では出来ないことも友達などと参加することで勇気が出ることも多いので友達に話すことから始めるといいと思います！身近なことから1つずつやるのが未来に繋がると思うので頑張ってください！

名前/グループ名/グループメンバー

インドワークキャンプ団体namaste!

人数

10人

活動地

茨城県

区分

大学生/大学院生

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間 2023年9月9日～2023年10月22日



取り組んだアクション

インドワークキャンプ団体namaste!は、設立してから10年以上、インド西ベンガル州にあるハンセン病による差別を受けた人々が暮らす"ハンセン病コロニー"で差別・貧困問題解消に向けて活動しています。村人と生活を共にしながら、一緒にコロニーが抱える課題解決を行うワークキャンプを年2回行っています。2023年9月のワークキャンプでは、コロニーの人々の住環境を中長期的に改善していくために、1.村人とともに、大掃除プロジェクト。2.住環境の現状を調査する、インフラ整備リサーチプロジェクト。3.コロニーの全軒を把握するための、データベース作成プロジェクト。を実施しました。また、10月には渡航報告会を実施し、ワークキャンプでの活動について報告しました。

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ハンセン病コロニーの差別・貧困問題解消



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

37人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

工夫したことは、2点あります。

1点目は、"支援する人・される人"という関係性ではなく、"わたしとあなた"という関係性を築くことです。プロジェクトを実施することはもちろんですが、子どもたちとたくさん遊んだり、一緒に水浴びしたり、お家に遊びに行ったり、関係性を築くことを大切にしました。

2点目は、村人のニーズに徹底的に寄り添うことです。全軒のリサーチを行ったり、村人たちとミーティングを行ったり、村人たちの要望に寄り添うことを意識しました。



困難だったこと/次回に活かすこと

今回の渡航で、住環境を中心にリサーチを行い、家屋の建て替えを行う優先順位やそのために必要な資金を調査しました。そして、次回渡航では、実際に家屋の建て替えを実行できるように、クラウドファンディングの実施や助成金の申請等を行い、資金の調達を進めていく予定です。



これからアクションを起こす人へメッセージ

「自分たちにできることはあるのかな?」、アクションを起こすうえで誰もが1度は考えることではないでしょうか。私たちも、そのように考えたことは多々あります。しかし、実際に現地に渡航して、アクションを起こして、「ありがとう」や「来てくれただけでうれしい!」といったあたたかい言葉をたくさんかけてもらい、自分たちにできることは小さなことでも、アクションを起こしてよかったなと心から思いました。何よりも、勇気を出して1歩踏み出すことが大切だと思います。みなさんが勇気を出して、1歩踏み出すことを心より応援しております。頑張ってください!

名前/グループ名/グループメンバー

ダラン優那

人数

254 人

活動地

千葉県

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

アクションの種類 ボランティア

支援先

実施期間

2023年4月23日



取り組んだアクション

父親が勤める会社の誘いで、一般社団法人SEGOが主催した「片瀬東浜海水浴場をキレイにするプロジェクト」に参加した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

762 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

目でキャッチしやすい大きなゴミだけでなく、ゆっくり歩きながら気づきにくい小さいゴミまで見逃さずに拾った。



困難だったこと/次回に活かすこと

日本の海辺であっても、ガラス片やプラスチック片などの小さすぎるゴミが散乱していた。拾うのにどれだけ時間や体力を費やしたことか…ゴミであるか否か判断しにくい物品も散乱してた…海に浮かぶ島国の日本も世界の一部であることを改めて実感した。



これからアクションを起こす人へメッセージ

海辺をキレイにすることは意外と大変だけれど、世界の社会問題を実感する貴重な機会である。ポイ捨てはもう今日からやめよう！ゴミが海を渡って他の国々の環境を汚さないために…

名前/グループ名/グループメンバー

NPO法人MIS

人数

15 人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

アクションの種類 ボランティア

支援先 New Blood School

実施期間 2023年 9月 1日～2023年 9月 2日



取り組んだアクション

タイのミャンマーとの国境沿いにあるメーソットという地域に行き、ミャンマーからの避難民の子供たちが通う学校において、生徒たちと直接話し交流した。学校卒業後の進路(大学進学や就職)において非常に選択肢が限られた状況にいる生徒たちに、今まで触れてこなかった文化に触れる新鮮な経験をしてもらい、さらに自分たちの将来について考えてもらうために、2つのプロジェクトを実施した。日本文化プロジェクトでは、生徒たちと、けん玉や輪投げ、折り紙といった日本の遊びを楽しみ、コミュニケーションを密にとり、親睦を深めた。将来の夢プロジェクトでは、子供たちに自分の将来像を画用紙にかいてもらって、発表しあい、少しでも明るいビジョンを持ってもらうための機会とした。

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

教育問題



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

文房具 15 個

◆ ボランティア時間

150 時間

◆ インパクト人数

150 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

日本文化プロジェクトにおいては、初めて経験する遊びをひとりひとりが楽しめるよう、生徒たちをグループに分けて、MISメンバーとのコミュニケーションがしっかりとれるような形にした。将来の夢プロジェクトでは、自分の似顔絵、尊敬する人なども盛り込んでもらうことにより、自分の将来像だけでなく、今の自分についても顧みてもらえるように工夫した。



困難だったこと/次回に活かすこと

言語の面ではやや苦労した。英語が得意な子もいればそうでない子もいるので、適宜ビルマ語が喋れるMISメンバーの通訳も交えながら、対応していった。また、将来が不確実な生徒たちと将来の夢について語り合うことが果たして求められていることなのかという疑問はあった。生徒たちが自らの将来について考え、その思いをフランクに共有してくれるようにするにはどうすればいいのか、これからも模索していくことである。



これからアクションを起こす人へメッセージ

何かの企画を実行するときは、少なからず、その企画をやる必要性や意義に疑問を持つことがあると思います。だからこそ、自分たちなりの目標や軸をしっかりと持つことによって、そのプロジェクトにやりがいを持ち、インパクトを与えようと努力することが大切です！

名前/グループ名/グループメンバー

学生団体おりがみ環境チーム

人数

15 人

活動地

千葉県

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

SDGs

アクションの種類 ボランティア

支援先

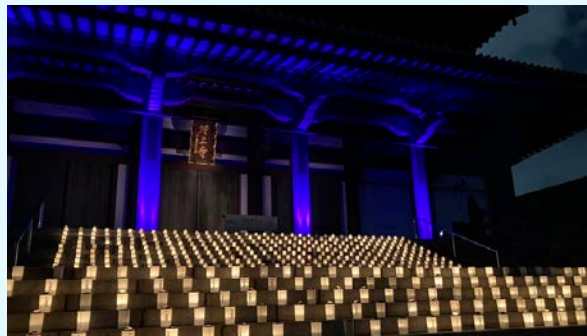
実施期間

2023年6月21日



取り組んだアクション

夏至の日に増上寺で行われた「100万人のキャンドルナイト」でキャンドルの準備や後かたづけを行った



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

135 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

ケガをしないようキャンドルを灯したこと、テレビ朝日の取材もあったのでキャンドルの灯し方を披露したこと



困難だったこと/次回に活かすこと

特になかったけど、イベント終了時にキャンドルを消すのが悲しかったな～特に思い出すのは、消火中にキャンドルを背景に愛犬を撮影した方がいたこと！



これからアクションを起こす人へメッセージ

キャンドルナイトはランダムに実施されます。是非「キャンドルナイト」と検索してみてください。みなさんも「電気の無い世界」に浸り、これからの未来について考えてみませんか？

名前/グループ名/グループメンバー

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
フィリピンスタディツアー2024春参加者

今川つかさ、窪寺柚月、ダラン優那、N Ogata、
ほのか、あき、はんな、しず、ことの、すみれ、Otu、
すけ、おそ、りこびん、わかな、りこ、胡桃、ゆり

人数

18人

活動地

フィリピン

区分

中高大学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利、貧困、飢餓、教育



取り組んだアクション スタディツアーに参加し、現地の人々と交流・ボランティアを行った。

1. 先住民族の村で、農園、学校を訪問、子どもたちとの交流、ホームステイ
2. 刑務所や虐待から救出された男の子たちの施設を訪問、交流
3. 性的搾取から救出された女の子たちの施設を訪問、交流、事実説明練習の聴衆ボランティア
4. フィリピンの歴史を知るための観光
5. マニラのスラム地域を訪問、漁港訪問、子どもたちとの交流、家庭滞在・インタビュー

アクションの種類

ボランティア

実施期間 2024年3月20日～3月26日

数値的成果

ボランティア時間

108時間



参加報告（ツアーを終えての感想・今後のアクション）

全体を通じて気付いたのは、振り返りのグループワークの重要性です。ほぼ毎日、一日の最後に円になってその日の感想をみんなで共有していました。そこで自分の言葉で感じたことを誰かに伝えることで、自分の頭の中が整理され、より感じた思いが強くなるのを認識できました。更に、他のメンバーから自分では思いつかないような視点からの知見を得ることができ、大きな問題に対してみんなで考えることの大切さを学びました。

印象に残ってることは、ガールズの施設で仲良くなった女の子が、実は性虐待の経験を話す子だったと、仲良くなった後に知ったことです。ランチタイムの時に冗談を言い合ったりと、とても明るい子だったので、その分、泣きながら辛い経験を話していた姿が衝撃的でした。その時、この子の涙を無駄にしたいくない、と強く思いました。

ツアーに参加する前は、国際協力というものに興味はあったものの、どこか自己満足や偽善という言葉が頭をよぎり、自分が活動している姿が想像できませんでした。しかし、貧しいはずなのに私たちにお腹いっぱいになるまでご飯を食べさせてくれた大人達、辛い経験を話してくれた同年代の子供達と仲良くなるなかで、次第に受けた善意を返したいと思うようになりました。そのために少しでもできることをしたい、と今は参加前とは確実に考えが変わったのを感じています。

今後のアクション

学校のグローバルカフェという、放課後に国際的なトピックについて交流する会で、スタツアで体験したこと・考えたことを共有する。英語弁論大会でスタツアに関する発表をしてみる。

（あき、中学生）

全体を通じて感じたことは、みんなで仲良く終わることができて、とても楽しかったです。

印象に残ってることは、BoysやGirlsの施設で笑顔だった子が、実は壮絶なバックグラウンドを持っていたりしたことにショックを受けたことです。

行くまでは、授業で受けた時の遠い国だし、みたいな気持ちが、実際に現地に行くことで、何か自分がアクションを起こさなければ現地の状況は変わらないと感じています。

今後のアクション

動画、絵本、ポスターを作って、現地の様子や問題を伝える。

（胡桃、中学生）

フィリピンという新しい環境に直面し、私にとって挑戦と成長に満ちた一週間でした。初めは文化の違いやコミュニケーションの壁に戸惑い、不安になる場面もありましたが、それらの壁を乗り越えることで自分自身に自信を持つことができました。

この経験で特に印象に残っていることは、アエタ民族やスラム地域に住む方など現地の方たちとの交流です。彼らの温かさやおもてなし、そして初対面の人にもグイグイ行く人懐っこさに関心しました。彼らとの交流を経て、文化やバックグラウンドに関わらず、お互い認め合い理解し合う重要性を改めて実感しました。

今回のスタディーツアーで私は現地の人々の話を直接その場で聞くことの大切さを強く認識しました。現代では、インターネットや書籍など情報源は豊富に存在します。しかし、それらは間接的なものにすぎず、感情的な要素が欠けていることがあります。現地へ足を踏み入れ、彼らの思いや体験談を聞くことで、インターネットや書籍などでは得られない感情的な共感を痛感することができます。この経験は、感情的な繋がりを通じて学ぶことの意義を私に教えてくれました。

今後のアクション

私は教育に興味を持っているので、将来教育に関する支援活動を行いたいと思います。教育は、個々の可能性を引き出し、社会全体の発展に不可欠な要素です。特に、教育の質の向上や教育機会の平等性を追求し、全ての子どもたちが最高の教育を受けられるようにすることが重要だと思います。そのため十分な教育を受けられていない地域に学校や図書館を建設するなどのプロジェクトに参加し、少しでも役に立てたら良いと思います。

(りこ、中学生)

全体を通じて感じたことはまず、楽しかった。世界の問題はたくさん感じたが、それより先にツアーの仲間と、現地の人と沢山交流ができ、言語の壁はあったものの色々な人と関わりがもて、楽しかった。

印象に残っていることは虐待の辛さで、理解はしていたけど、自分と同じ年齢、もしくは自分より若い人が数ヶ月、もしくは数年間虐待に遭い、まともな勉強はおろか生活すらできない人が沢山いて、予想よりずっと辛く、自身の過去を話してくれた子達の顔がとても辛そうで印象に残った。

今回のツアーで学んだことは日本とはとても恵まれている国であり、それと同時に恵まれているからこそ、恵まれない人達に気付きにくいんだなと感じた。今回のことを友達に話した時に「日本に生まれてよかった」だけで終わらせ、ツアーに行く前の僕と同じく、実際の辛さを理解していないようだったから。今回のことで自分は不幸な目にあってある人達に気付きにくい国にいるからこそ、今まで世界になんの興味も持たなかった僕が不幸な目にあっている人達の存在に気づいた自分がどうかしようと思った。

今後のアクション

自分はめんどくさがりで行動力もないため、簡単で今すぐにも出来るようなアクションを考えた結果、友達に旅の土産話の感覚でもいいから「フィリピンで起きている問題を話す」ということをやってみたい。そして、みんなに辛い現実を知ってもらい、その人がアクションを起こさなくてもいいから、心の片隅にでも世界には辛い生活をしている人も居るんだなと知ってもらおう。

(Otu、中学生)

フィリピンに滞在した七日間は毎日がとても新鮮で、沢山の新しい発見と気づき、今まで焦点を当てていなかった様々な社会問題について学べました。その他にも、新しい仲間と過ごす楽しさに気づくことができました。

この七日間で一番印象に残っていることは、アエタ民族のコミュニティを訪れた時です。アエタの村では子どもたちと遊んだり、農場の見学をさせていただいたり、様々な体験ができました。その中でも一番記憶に残っているのはホームステイをしたときのことです。ホームステイをさせて頂いた時に話者が4000人程しかいない「アンツィ語またはマグアンツィ」の単語が載っている辞書を見せてくれました。このような言葉は年々話す人が減っているそうです。私には単語一つ一つがとても魅力的で素敵に感じました。この経験から、自分が普段目を向けていなかった「言語」に対する興味が芽生えました。

今後のアクション

自分は何が好きで得意かと考えた時に真っ先に思い浮かんだのは、「子どもたちと遊ぶ」ということでした。このことを軸に私にできるアクションは子どもたちに向けて、今回学んだことを発信することだと考えました。具体的には、簡単なゲームなどを作って小学生と一緒に遊ぶことです。このアクションを実現できるように頑張っています。

(N Ogata、中学生)

全体を通して、考えるととても楽しい一週間だったけど、その中には自分にとっては想像を絶する辛い話もあったし、自分の無力さに気付かされるときもあって、日本にいるよりも圧倒的に学びが深まった一週間でした。

印象に残っているのは、スラム地域のことで、みんな、裕福で、生活環境もとても良い、とは言えない中でも、幸せだと言っていたり、他愛もない会話で笑っていたり、社会問題は少ない日本が幸福度が低いということを考えると、幸せとはなんだろうととても考えてしまいました。

このツアーで自分に起きた変化は、この学んだことをどうやって一人でも多くの人に伝えることが出来るのかを調べたり考えるようになったことです。この学んだことを私一人が知っていて、「なるほどね」だけで終わらせてしまったらせっかく教えてくれた、お話や体験を無駄にしてしまうような気がしたので、聞いたお話を、正確に、伝わりやすく文章にするということを、するようになりました。

今後のアクション

このツアーで知れたことを誰かに伝えることも大切だし、このツアーで触れられた人の温かさを私達が繋いでいくのもできるアクションなのではないかな？と思いました。なので例えば、学校で「どんなことを学んで、どんなことをみんなに伝えたいか」を明確にして、行っていない人にも、わかりやすいように文章を書いてみる。だったり、ボランティアに参加してみたり、地域の子どもたちにご飯を作ってあげたりなどが、私に出来るアクションではないかなと思いました。

(ことの、中学生)

全体を通して、このスタディツアーはとても充実した学びの多いものでした。特に、ガールズ・ボーイズの施設で、そこに来た経緯を聞いたのは、一生忘れられないと思います。ガールズの施設で話をしてくれた方とは一緒にお昼ご飯を食べたのですが、その子も含めみんなとても明るく、そんな経験をしてきたとはにわかには信じられませんでした。そのような経験を通して私は、知ることの大切さを実感しました。なぜなら、これらの問題も知らなければ行動することなどできないからです。私はこのスタディツアーで多くの貴重な経験ができたので、これからはそれを多くの人に伝える活動もしていきたいです。

今後のアクション

フィリピンで学んだことと直接的には関係しないのですが、私は日本の森林問題についての啓発活動をしていきたいです。私はもともと学校の部活で日本の森林問題について知らせる活動などをおこなっていました。そして、今回のスタディツアーを通して、知ることの重要性により深く気付いたため、知らせる活動にもっと取り組んでいきたいと感じたのです。

(ゆり、中学生)

人生で1番有意義な時間を過ごせたと思います。そして、自分の将来やりたいことがより明確になりました。

1番印象に残っていることは、社会問題と人の不幸は必ずしも一致しないということです。どこの場所を訪れても、みんな幸せに生きていて、笑顔が絶えない…私が想像していたのとはかなり世界が明るいように感じました。それでも、解決しなければいけない問題は、しっかりと対処していくことも大切だと分かりました。

ツアーで学んだのは、表面上で捉えてはいけないということです。ガールズの施設に行った時、性被害がどれだけ残酷なものかが分かりました。せいひがい、たった5文字に彼女達の一生を決めかねない事件が起きていることを知り、その言葉にどれだけの背景があるのかを読み取ることが何よりも大切だと分かりました。

今後のアクション

私は子どもと遊んだり話したりすることが大好きなので、ボランティアのスタッフとして子どもと関わりたいです。とことん遊んで、時には相談を聞いて、子どもにいいストレス発散をして欲しいです。また、私は自分の伝えたいことを言葉で表すことが得意なので、国際を題材にしている小論文コンテストで私の実体験と伝えたい社会問題を書きたいです。それで、賞をとる事でHPなどに私の意見が載り、今起きている社会問題を色んな人に伝えることが出来ると思います。

(ほのか、高校生)

ツアーを終えて1番強く感じているのは、自分たちは恵まれた環境にいるということです。フィリピンにはまだまだ貧困問題が根強く残っていることを、先住民族の村やスラムに行き行って実感しました。明日生きられるかの心配をすることもなく、学校に通えて、美味しいご飯を食べられて、暖かい布団で寝られる、このような日本では当たり前な生活が決して当たり前ではないと学びました。しかし、フィリピンの人たちが貧しいからと言って、不幸である訳ではありませんでした。街を歩けばたくさんの人が手を振ってくれたり「Welcome to Philippines!」と言ってくれたりして、日本よりも心のゆとりがあるように感じました。また、スラムを訪れた際に訪問先のお母さんが、「私たちは貧しいけれど、食べるものがある、子どもが学校に行けて、健康で暮らせている。それだけで幸せなんだ。」と教えてくれました。日本人は確かに経済的な余裕はあるけれど、心理的な余裕はあるのか、本当に幸せなのか、ということ深く考えさせられました。今後は日常にある小さなことにも感謝して幸せを見いだして生活していきたいです。

今後のアクション

文房具集め、街頭募金。支援先の様子を実際に見ることができたので、強くやってみたいと思いました。

(今川つかさ、高校生)

1日1日が濃く充実していた1週間の旅でした。私の普段の生活とはかけ離れた環境でした。特にアエタの村の人々は笑顔で溢れていたけれど、家は狭く丈夫ではなかったり電波が弱かったり。日本のような恵まれた環境ではなかったです。でもやっぱりすごく笑顔で幸せそうでした。「本当の幸せってなんだろう」「日本のような恵まれた環境が幸せなのか」などと「幸せ」について深く考えさせられました。また、CFCボーイズやガールズに行った時、同年代の子どもが虐待を受けていた過去があるという事実を目の当たりにしました。すごくショックだったし、今までは他人事としてしか捉えられていなかったなと思いました。

今、日本に帰って生活していて、自分に何か大きな変化が起きたかと言われるとそうではないです。でも、目の当たりにした現状に対して何か行動したい、ほんの少しでも世界を良くする1歩になりたい、という気持ちが強まりました。

今後のアクション

まず、学び、伝えることができると思います。今回のスタツアで知った貧困や虐待は、日本でも見えにくく起きていて起こっていることだと思います。そういう現状をもっと学んでいきたいです。そして、今回のスタツアなど学んだことを学校やSNS等で発信していくことで周りの人の社会問題への意識を変えていければいいなと思います。また、学校や地域で楽器やボールなどを集め、CFCボーイズ・ガールズのような施設に寄付をするアクションを起こしてみたいです。施設で足りていないものを届けることで、遊びや教育の機会の均等に繋がると考えたからです。

(窪寺柚月、高校生)

初めてフィリピンに行くにあたりどのような場所なのかをあらかじめ調べたが、日常生活や周りの環境など日本と違うところがたくさんあって不安になってしまった。しかし実際に行ってみると、行く先々で出会った人々は親切であり、安心して過ごすことができた。

今回のツアーで特に印象に残っていることは、子供たち—特にアエタコミュニティの子供たちである。彼らは、私たちが来た時にすぐに懐いてくれて、さらには私たちの出身国について興味を持ってくれた。私たちが簡単な日本語を教えるとすぐに使ってくれて初対面にも関わらず盛り上がることもできた。そのような人々の元気そうな様子を見て、社会問題を抱えているということは決して不幸であるとは限らないとわかった。また、それならば社会問題の解決とはいったい何のためであるのかと考えたところ、当本人自体は不幸を感じていないが、それでも私たちのようにさらに裕福な生活をしている人がいて、それができずに労働などによって自分のために使える時間を失ってしまうことはいけなのではないか、という意識から始まったことなのではないかと考えられる。これは社会問題に対する自身の向き合い方の変化につながったのではないかと考えている。

今後のアクション

私は小さいころからモノ作りが好きで、科学館に行って機械や乗り物を分解した展示品を見たり、ワークショップに参加して実際にオルゴールみたいなものやラジオみたいなものを作ったりした。私はその自分のすきを生かして何かを作っている人にプレゼントをしたいと思った。今回のツアーを通して、訪れたところは家がボロボロだったり、段差が急だったり、冷暖房が効きづらかったりと日本に比べて住みにくいという感じだった。私はそれが気になったので住宅の住みやすさを少しでも改善するものを作りたいと考えている。自身はまだ専門的な知識はないためにできるとしたら同じような考えを持つ人々のためにクラウドファンディングに参加するなどくらいしかできないが、大学を経て大人になったら自分でフィリピンの人々のためになる新しいものを作って送ることができるだろう。

(おそ、高校生)

本当に参加してよかったと思った。初めてスタツアメンバーと会った時は、1週間本当にやっていけるのかなと心配になった時もあったけど、最終日には別れたくない思いしかなかった。一緒にだったメンバーがいたから楽しく、それぞれの視点や感じたことを知ることができた。

一番印象に残ったことは、フィリピンの法律では16歳以上でないと個人のデバイスを保持できないのに、スラムの地域では3歳以上のほとんどの子供は個人のスマホを使っていたこと。

ツアーを通じての自分自身の変化は、最初は野良犬や野良猫に対して恐怖を抱いていたけど、どこにでもいるので慣れたこと。英語が得意な人に任せてしまっていたことが多かったけど、間違えてもいいから喋ってみよう！質問してみよう！のマインドが変わった。チャレンジ精神の大切さをとても感じた。

今後のアクション

各国の料理を作る。着なくなった服を寄付して子供たちに自分が着たい服を選んで、選ぶことの楽しさを学んで欲しい。駅などで困っている外国人に声をかける。（空港から家に帰るときに、改札でPASMOを切符のところに入れようとしている人に実際にカードはこっちだよと教えられた！学校の先生になる。

（りこびん、高校生）

フィリピンに行く前は治安や生活が不安でしたが、一緒にツアーに参加したメンバーやスタッフの方々がとても親切で、現地の人々との交流を楽しむことができました。訪れた場所はどこも何かしらの問題を抱えていながらもあたたかく、優しいコミュニティでした。しかし、問題は問題であって、解決しなければならないのだと痛感しました。

今後のアクション

まず、学校で募金活動が行われたことが何度かあるので、これをきっかけに持ちかけてみたいと考えました。加えて、声を挙げ続けることが大切だと考えたので、ブログなどで発信してみたいと思いました。

（すけ、高校生）

貧困や性暴力などの社会問題は、日本での学習や生活の中でも多く耳にする言葉でしたが、私はそれらの言葉に対して、あまりにも大雑把な定義でしか理解していませんでした。しかし、今回のツアーでのたくさんの人との交流や体験を通じて、それらの社会問題の言葉の裏にある一人ひとりの生活や、その中で抱える辛い思いや不安といった感情に触れることができ、どのような社会問題がどのような形で存在しているのかを知ることができました。また、ツアーを通じて、権利を侵害されているたくさんの子どもとも出会い、すべての子どもが生きやすい社会と現状の大きいギャップを痛感し、改めて、すべてのおとなと子どもが子どもの権利を理解し、その権利が守られることの必要性を感じました。

そして、一緒に7日間を過ごしたメンバーと学びを深めることができたことも印象に残っています。毎日、宿泊所に戻ったあと、みんなで振り返りをしたり、布団に入りながら、自分が感じたことや考えたことを共有・議論したことで、自分の気持ちを整理できたり、新しい視点を得られたり、アイデアを発展させたりすることができました。

フィリピンでのスタディーツアーでは、たくさんの社会問題を自分の目で見て、そして全身で感じ考えることができました。でも、ここで出会った貧困や家庭内暴力などの問題は、フィリピンや他国だけの話ではなく、日本にも、自分の周りにもたくさんあって、だからこそ、ツアーを通じて学び考え成長した今の自分なら、今まで見えていなかった部分に少しでも気付いて手を差し伸べられるのかもしれないと思います。

今後のアクション

私は、この7日間で経験したことを家族や友達に伝え、また新聞投稿などを通じてより多くの人に発信していきたいです。アクションのためのファーストステップである「知ること」を共有することで、みんなで一緒に問題について考え、そしてアクションの輪を広げたいからです。私は、このツアーの中で参加者のメンバーと気持ちや考えを共有したことや議論したことを通じて、一人ではなく、みんなで一緒に考えることの安心感とワクワクをたくさん感じました。私はまだ、途上国の人を救うため、社会問題を解決するためのアクションを考えている途中です。だからこそ、学びながら、そしてそこにいる一人ひとりの生活を想いながら、少しずつでも一緒に考える人の輪を広げていきたいなと思います。

（わかな、高校生）

今回のツアーで良かった点は旅行だけでは見るることのできない人々の生活や価値観が学べたことです。人と出会うことは自分に新たな視点を生み出し成長させるものだと思います。今回、本当に沢山の人々に出会うことができました。ボーイズとガールズの施設では自分の身に起こったことを計6人の子が私達に語ってくれました。話を聞く前まではその子がどんな背景を持っているのか想像もつかず、ただ施設のメンバーと楽しそうに過ごしていることしか見えませんでした。でも実際に話を聞いてみると、どの子も本当に重く、大きなバックグラウンドを持っていて衝撃を受けました。アエタ民族の村やスラム地域へ行った時は自分が想像していなかった暮らしがそこにはあることに驚きました。

私が印象に残っているのは、アエタの村にある小学校で聞いた話です。生徒の親の中には親自身があまり教育を受けられていない人もおり、教育の重要性がわかってもらえないそうです。そこで生徒と学校を繋ぎ止める役割を果たしたのが給食。朝ごはんを食べない家庭も多いそうで、親は「とりあえず、学校へ行って給食を食べてきな」という感じで子どもを送り出すそうです。しかし、その小学校は政府からの資金だけでは少なく、給食代は先生達で賄っているといいます。先生達はみんなに来てほしいからという優しい方ばかりでしたがこれはどうにかしないといけない問題だなと感じました。

私がツアー全体を通して感じたことは、「知る」ことの大切さです。ツアーに行かなければ知らずに過ごしていた多くの事実。行ったからこそ出会った子達。そこでその人々を知らなかったら私の視野はとても狭いままだったと思います。今、この瞬間も私達が出会った人々はフィリピンで生活している。それは私にとってとても不思議な感覚です。人生という糸が一瞬だけ他の人の糸と絡み合っただけで終わったような感覚です。でも絡み合っただけでも絡み合った感覚はずっと残っていて、その絡み合った瞬間をいつでも思い出すことができます。今回出会ったのはフィリピンで貧困層と呼ばれる人々や、施設で生活している子ども達でした。その現状を知り、語ってもらったことで私の中に"日本ではどうなのだろう?"という疑問が沸いてきました。そして、今まで自分が日本で起きている貧困問題や体の問題に目を向けてこなかったことに気がきました。日本から離れ、フィリピンへスタディーツアーに行ったからこそ気付かされ、新たな視点を持つことができたのだと思います。

今後のアクション

私は、アエタの村の小学校で聞いた給食費を先生たちが賄っていることをもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。そこで、より多くの人々の興味も引き付けられたいと考え、私の趣味である樹脂粘土でミニチュアフードを作ることと掛け合わせようと思いました。今回のツアーで食べた物(もちろんその小学校でお裾分けして貰った給食も)を粘土で再現してInstagramに感想と一緒に投稿するなどです。貧困問題など、あまり目を向けたことがない方へも発信できたら良いなと思います。

(しず、高校生)

最高のメンバーと出会え、知らなかった世界の現状を自分の目で見て感じて、こんなに素敵なツアーは他にないと思えるくらい、参加して良かったという気持ちです！

性被害や虐待にあった子どもたちの経験を伺ったのが最も印象的でした。同じ世代の子どもたちの辛い過去を、今まで何も知らずに生きていたことにもどかしさを感じ、私たちが聞いたこの話を私たちで終わらせてはいけない、より多くの人に知ってもらいたいと感じました。

また、ツアーを通してチャレンジ精神を学べました。初めは、あまり英語が話せないで伝わるかわからないと思い、自分から話そうとしませんでした。ですが、同じメンバーが積極的に英語を使って話す様子を見て、伝わらなくても一度自分から話してみようと思えました。実際に、スラムでは自分からたくさん話しかけることができ、違う文化の方々と話せてとてもいい経験になりました。今ではたくさん話せて本当に良かったと思います。これから様々な経験をしていく中で、このツアーで得たチャレンジ精神は生きていくと確信しています。

今後のアクション

今回のツアーでたくさんの海外の子どもたちと出会い、触れ合いました。その中で、子どもたちは私達に日本語を聞いてくる機会が多く、学習意欲を感じました。ですが、学校に行けていない子どもがいることをこのツアーで身にしみて感じました。学校が給食を出すと、給食を目的に学校に来るようになる。けれど、給食費用が足りていないという話を聞きました。少しでも学校に行ける人が増えるように寄付したいと思うようになりました。自分の好きなことでないと飽きてしまうと思うので、好きな刺繍を作って売り、その売上金を教育機関へ寄付したいです。また、今回のツアーで見た子どもたちの楽しく遊ぶ様子や景色などを刺繍にし、子どもが教育を受けていないという現状をより多くの人に知ってもらいたいです。

(はんな、高校生)

今まででいちばん充実した1週間を体験することが出来ました。このツアーを通じ、同世代の仲間たちと発展途上国の生活を実際に味わい、その生活について考えを深めることで自分たちとの違いに気づき、これからどう生活していかなければいけないのか考えさせられました。

一番印象に残ったのは、アエタの村での生活です。言語が何も通じなくても伝えようとする姿勢が大事だと感じました。子供たちと会話はあまり出来なかったけれど意思疎通できた気がしました。

ツアーで学んだことは、不自由がないことが全てではないということです。正直日本より施設は満足できるものではなかったし不便さを感じるの方が多かったです。しかし、日本にいるより人の温かみを感じる事が出来ました。毎日何かに追われている自分たちを見直す機会になったと思います。

今後のアクション

イラストや簡単な絵を書くのが得意なので、小学校などに赴いてプレゼンや紙芝居をして世界の現状を今回出会った同じ年代の子供たちに伝えたいです。

(すみれ、高校生)

フィリピン人の私でも新鮮な旅をフィリピンで味わった！いつもは両親の実家へ帰省(=観光目的)するが、今回は観光とは違う面で思いっきり学んだ。新たな目的で旅するという意味で新鮮だった。

一番印象に残っていることは途上国であっても人々が明るく生きていること。「日本は飲める水道水や電車などで恵まれている」といわれるが、フィリピンだって「フレンドリーさや現地にしかないような食べ物で恵まれている」じゃないか。「恵まれている」の基準なんてないし、諸国で比較するものではないということを学んだ。

今後のアクション

私は今年で20歳なので、バースデードネーションを企画しています。支援先もちろんルーツであるフィリピン。スタツアを通じて主に教育面を支援したい気持ちが溢れました！

(ダラン優那、大学生)

思い出写真



FREE THE
CHILDREN

香港兒童
基金會

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

資金調運



名前/グループ名/グループメンバー

豆腐A

人数

3人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

貧困、教育、
日本の中高生の意識改革

アクションの種類 資金調達・啓発活動

支援先

インドのマハラシュトラ州ムンバイ
リムラスクール

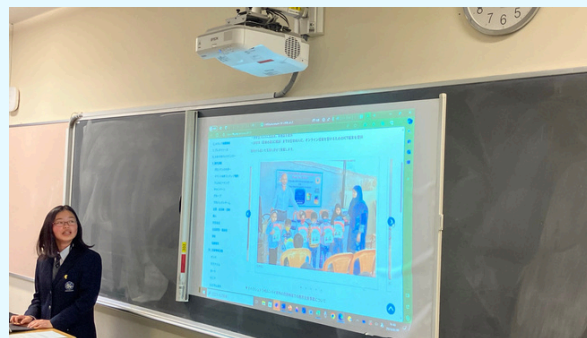
実施期間

2024年 2月 9日



取り組んだアクション

学校で「グローバルカフェ」という放課後のイベントを企画しました。フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのフェアトレードチョコレートプロジェクトで作った寄付付きフェアトレードチョコ「Khushee」の販売と、フェアトレードや児童労働についてのプレゼンテーション、ディスカッションを行いました。イベントを通じ、フェアトレードに関心がなかった中高生にフェアトレード製品を買ってもらい、関心を高めてもらうことができました。チョコレートの売り上げは、インドのムンバイ郊外の貧困地域にあるリムラスクールへの寄付となり、現地の教育支援に役立ててもらいます。次は、グローバルカフェ第二弾として、インドに寄付したお金がどのように使われたのか、報告会を実施しようと考えています。



数値的成果

◆ お金の寄付

8,535 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

6 時間

◆ インパクト人数

50 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

フェアトレードを全く知らない中高生にフェアトレードについて知ってもらうために、「グローバルカフェ」という誰でも気軽に参加できるイベント形式にして、プレゼンやディスカッション、販売を行いました。約50人の中高生にイベントに参加してもらいました。最初のアンケートではフェアトレードについて知らない人が過半数だったのですが、最後にはみんなが活発に、フェアトレードがどういったら普及するのか、自分ができることは何なのかについて話し合っていました。私たちは、中高生へのフェアトレードの普及、意識改革と、インドへの8,535円の寄付を達成しました。



困難だったこと/次回に活かすこと

フェアトレードに関心のない中高生に、どうやって参加してもらうかが難しかったです。仲間と協力して口コミしたり、ポスター、校内放送をしたりしました。人を集めるには口コミが一番効果的だなと思ったので、次回の報告会は協力者を集めて、口コミでもっと多くの人を集めたいと思いました。フェアトレードを全く知らない人も多く、最初から順序だてて仕組みを説明するのが難しかったです。フェアトレードも、学校の授業のマニュアルのように、教え方、説明の仕方があったら分かりやすいし、学校教育にも取り入れやすいと思ったので、マニュアルを作りたいです。



これからアクションを起こす人へメッセージ

あなたの一步で勇気もらえる人、行動を変えてみようと思ってくれる人がきっといます！
チャレンジしてみてください！

名前/グループ名/グループメンバー

さら

人数

4 人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

教育問題

アクションの種類 資金調達

支援先

インドにあるリムラスクール

実施期間

2024年 2月 13日



取り組んだアクション

学校でフェアトレードチョコレート"Khushee"を販売した



数値的成果

◆ お金の寄付

17,800 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

4 時間

◆ インパクト人数

30 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

達成したことは、学校みんなにFTCJという団体を知ってもらえたこと！



困難だったこと/次回に活かすこと

困難だったことは、学校販売の許可をもらうために一から資料づくりをしたことと、その後校長に許可取りに行ったけど、なかなか売っていいですよって許可が出なくて売っていいですよって許可をもらえるようないろいろなアイデアを提案したこと！次からは、ポスターを貼って宣伝できるように頑張ります！！



これからアクションを起こす人へメッセージ

子どもには世界を変えられると信じています！自分だけでは勇気が出ないっていう方がいたら、ボランティアなどに参加してみてください！同じ考えの人が何人もいます！みんなで世界を変えましょう！ Together We Can Change The World! Let's Be Changemaker Together!

名前/グループ名/グループメンバー

さわ

人数

8 人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ジェンダー問題

アクションの種類 資金調達

支援先

実施期間 2023年9月1日～2024年3月現在



取り組んだアクション

- 1.能登半島地震の被災者の方々の復興のために立ち上げられたバースデードネーションへの募金
- 2.団体主催のバースデードネーションへの募金
- 3.二つの募金活動へ家族にも参加をするようにお願いする
- 4.学校の生徒会主催の能登半島地震への募金
- 5.リレーコラムでヘッドネーションについて書く
- 6.おしゃべりナイトでヘッドネーションやジェンダー問題について話した



数値的成果

◆ お金の寄付

8,000 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

一つの目的や活動内容だけに偏らないようにした。
去年は環境問題だけに対して活動する事が多かった
ので今年は色々なことにチャレンジできたと思う。



困難だったこと/次回に活かすこと

困難だった事はない。強いて言えば活動をなかなか
できなかったことと、大きなアクションを起こす事
ができなかったこと。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションはやらされてやるのではなく自分がやりたくてやることだから楽しんでやると一石二鳥！

No.21

名前/グループ名/グループメンバー

惺

人数

3 人

活動地

山口県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ご飯が食べられない子の為に食材を寄付する

アクションの種類 資金調達

支援先

子ども食堂

実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

子ども食堂の為に食材を寄付した



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

4 個

◆ ボランティア時間

6 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

気持ちを込めた



困難だったこと/次回に活かすこと

時間結構掛かった



これからアクションを起こす人へメッセージ

少ない人では、なくみんなの為に動く

名前/グループ名/グループメンバー

鈴木真優

人数

1人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの平等、飢餓を無くす

アクションの種類 資金調達

支援先

特定非営利活動法人
全国子ども食堂支援センターむすびえ

実施期間

2023年1月18日～2023年2月25日



取り組んだアクション

能登半島地震の被害にあった子供達のために「特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センターむすびえ」に寄付するお金を集めるため該当募金活動を行いました。



数値的成果

◆ お金の寄付

60,222 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1.75 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

何円寄付すべきかわからない、何に使われるのかなといった疑問をなくすため、200円の寄付で子ども1人分の食事を作ることができることや寄付されたお金は、全額子ども食堂支援センターむすびえに寄付されることを明示しました



困難だったこと/次回に活かすこと

場所を選びに苦戦したのと、一緒に募金活動してくれる人を募集するのに苦戦したため、今度からはもっと余裕を持って1ヵ月ほど前位から一緒に街頭募金をする人を集めたりしたい。ー



これからアクションを起こす人へメッセージ

唐突に思った、こんなことをしてみたい。を実現させてくれるのがFTCJです。実現させるまでが大変だけれど、達成したときの達成感や喜びがなかなか味わうことのできない貴重なものだと思います。ぜひ1歩踏み出して自分にできることを探して挑戦してみたいです。

名前/グループ名/グループメンバー

HOPEHAVEN

人数

6人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

アクションの種類 資金調達

支援先 破棄物処理会社 GFL Environmental

実施期間 2024年3月9日



取り組んだアクション

カナダの高校に所属する6人で学生団体HOPEHAVENを立ち上げた。私たちの目標は、世界の発展途上国の子ども達に継続的な資金支援を行い、豊かな生活を目指すことである。そのために、私たちは実際に”ボトルドライブ”というアクションを行った。よく耳にするフードバンクとは、賞味期限や見た目などから市場に流通できなくなった廃棄されてしまう予定の食品の寄付を受け、利用するシステムのことであるが、私たちが行ったのはそのボトル版である。具体的には、アルコールを含む缶、ペットボトルを中心とするプラスチック製品、ビンなどのガラスの回収を行った。また、このボトルドライブをするにあたりポスターを制作し、私たちが所属する学校に貼ったり、100部以上のチラシを地域に配布し活動そして背景にある社会問題への認知拡大を測った。

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

貧困問題



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

ボトル 約5000 個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

目標を大きく上回るボトルの回収をすることができた。また、今回当日どれくらいの本数を回収することができるか目処が付かなかったため啓発活動に力を入れ、工夫として一人でも多くのためにこの社会問題の現状を知ってもらうだけではなく、ボトルドライブという具体的なアクションを提示し今からできる身近な活動を同時に伝えより有効的な時間になるようにした。



困難だったこと/次回に活かすこと

当日に全員が参加できたわけではなく、このアクションを起こす過程でも人数不足を感じた。また、回収したボトルをアルコール缶、その他の缶、ビン、プラスチック製品に手作業で一つずつ分別し、数を数える作業が労働力不足でとても大変だった。しかし、沢山の人がわざわざボトルを私たちのために運んでくれたことに地域のつながりの暖かさを感じるとともに、とても感謝している。



これからアクションを起こす人へメッセージ

私たちの団体にとって初めての大きな取り組みがこのボトルドライブであった。私は、海外に実際に行くまでボトルドライブという言葉を知ることがなかった。しかし、その国にはその国に合うアクションの方法があるということを知った。カナダは主な交通手段は車であり家庭で出たゴミを地元も学校まで運ぶことへの抵抗があまりないことがわかった。このようにその土地や場所、気候を生かしたアクションを起こすことでより大きな成果と幸せを共有できると思った。

名前/グループ名/グループメンバー

山口友那

人数

5 人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

地震により、住む場所を奪われ、怪我や病気にかかっている人たちへ募金活動という形で支援しました。

アクションの種類 資金調達

支援先 日本赤十字社

実施期間 2024年 2月 4日



取り組んだアクション

2月4日に能登半島募金活動を行い、4人の方にご参加いただきました。挨拶をしたあと、募金箱やポスター作りをしました。そのあと1時間半ほど募金活動をし、それぞれ自分たちの感想を言い合った後解散しました。

数値的成果

◆ お金の寄付	◆ 物の寄付
31,719 円	個
◆ ボランティア時間	◆ インバクト人数
15 時間	約50 人
◆ その他	
その他の数値	



工夫したことや達成したこと

今回自分が現地にボランティアに行きたいがいけないという憤りを街頭募金の活動という現地に行かない方法での震災地への助けができてとても嬉しく思います。またこのような自分が主催となって活動することは初めてでしたが、みんなと協力できてやりがいを感じました。



困難だったこと/次回に活かすこと

募金活動前に関しては募金活動の広報をする日程が実施する日ととても近く、FTCJアンバサダー内で呼びかけたときメンションという機能を使っていなかったため参加者があまり集まらなかったこと。募金活動中に関しては防寒着が十分でなく募金活動中とても寒かったこと、募金活動場所を1つの場所ではなく複数にしておけばもっといろんな人の目に止まっていたはず、などの意見が参加者から寄せられました。



これからアクションを起こす人へメッセージ

1人でアクションを起こすことは難しいかもしれませんが、諦めずに発信し続けていればきっと同志は見つかるはずです！自分の思いを信じ続けましょう！

文教ACTION

人数

12 人

活動地

埼玉県

区分

大学生/大学院生

アクションの種類 資金調達

支援先

フェアトレード先であるマラウイ
能登半島で被災された方々

実施期間

2023年 12月 21日～2024年 3月現在



取り組んだアクション

仲間と共に、国際協力サークルを立ち上げ第1回の大きな活動として、学生にフェアトレードを広めるため、マラウイ産のフェアトレードの砂糖が使われたマカロンの販売会を行った。仕入れた50個全て完売し、マラウイの生産者の生活向上に少しだが貢献することができた。利益を能登半島地震に全額寄付した。また、すぐにできるアクションとしてコンタクトケースの回収を呼び掛けた。

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

発展途上国における労働者の搾取



数値的成果

◆ お金の寄付

1,300 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

50 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

フェアトレードにはメリットだけではなく課題点もあるため、ポスターを制作し、学生にフェアトレードについて考えるきっかけを与えられたこと。展示品や、販売ブースの飾り付けなど準備にも力を入れた。



困難だったこと/次回に活かすこと

フェアトレード商品は一般的な商品と比べ価格が高いため、学生に売れるか不安でしたが、事前に講義前に時間をもらって呼びかけを行ったり、実際に自分たちで試食してお客さんに味を伝えられるよう工夫して乗り越えました。改善点として、大半の学生は商品を購入するだけで、展示ブースにはあまり人が集まっていなかったため、次回は発信方法を変えたり、どのようにしたら学生が国際協力に興味を持ってくれるか考えていきたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

同じ志を持つ仲間はいっぱいいます。勇気を出して小さなことからアクションを起こしてみてください！一緒に頑張りましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

ゆい

人数

1人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利が蔑ろにされたり、軽視されたりしている問題

アクションの種類 資金調達

支援先

実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

子どもの権利をまもるための募金をしたいと思い、その資金を集めるため、家で書き損じはがきを探した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

今すぐに自分でできることはなんだろう、というところからアクションを考えた。その結果、家の中ではがきを探したり、近所で募金ができる場所を探す行動に繋げることが出来た。



困難だったこと/次回に活かすこと

少額で団体に寄付や募金することは難しいことが分かったため、募金の募集をしている機会があれば積極的に参加したり、コンビニエンスストアやスーパーのレジ横などの身近なところでの募金に挑戦したりする必要があると思った。



これからアクションを起こす人へメッセージ

どんなに小さなことでも、自分で考えて自分でアクションを起こすことが、周囲だけではなく自分の思考や行動の変化にも繋がる！

名前/グループ名/グループメンバー

Free The Children Japan
チョコレートプロジェクトチーム2022

人数

8人

活動地

全国

区分

中学生・高校生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働・貧困

アクションの種類 資金調達、啓発活動

支援先 プレダ基金/フィリピン

実施期間 2022年11月～2023年4月



取り組んだアクション

フェアトレードチョコレートMasayaの価格設定、パッケージデザインなどを行い、販売した。価格の33%がフィリピンの子どもの自立支援を行うプレダ基金に寄付される。



数値的成果

◆ お金の寄付

56,212 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他



工夫したことや達成したこと

フェアトレードチョコレートMasayaの企画・販売を行い、販売し切ることができました！パッケージデザインの意見などをメンバーにslack上で聞く時、必ず期限を設けるようにしました。そうすることで、多くのメンバーの意見を聞いてパッケージを作ることができました。



困難だったこと/次回に活かすこと

パッケージデザインの作成を担当したのですが、最後の方が入稿ギリギリでバタバタになってしまいました。次回からは期限に余裕を持って作業を行いたいと思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

私はこのアクションを通して、新しい友達を作ることができ、多くのことを学ぶことができ、本当に良かったです。1歩踏み出してアクションを起こしてみると、新しい発見がたくさんあると思います！

名前/グループ名/グループメンバー

Free The Children Japan
チョコレートプロジェクトチーム2023

さら、吉田日月生、波田野優、わっしー、ゆりな、
豆腐A、きだはるか、その他13名

人数	活動地	区分
20 人	全国	中学生・高校生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働・貧困

アクションの種類 資金調達、啓発活動

支援先 リムラスクール/インド

実施期間 2023年10月～2024年4月（継続中）



取り組んだアクション

途上国の児童労働をなくすため、また、インドの教育支援を行うために、寄付付きのフェアトレードチョコレート商品Khusheeの企画・販売を行った。価格の約41%をインドの支援に寄付した。企画・販売を通して、児童労働やフェアトレード、教育に関する知見を深めることができた。



数値的成果

◆ お金の寄付 現時点では70,000 円	◆ 物の寄付 個
◆ ボランティア時間 時間	◆ インパクト人数 人
◆ その他	



工夫したことや達成したこと

バレンタインデーが近かったのでそこを狙って販売した。寄付付き商品だが、フェアトレードについて多くの人により知ってもらうために商品の値段を去年よりも低くしたため、フェアトレードを周囲に広めることができた。公正価格のチョコレートを購入することができた。



困難だったこと/次回に活かすこと

オンライン販売の売れ行きが芳しくなかったため、学校の先生など買ってくれそうな大人に積極的にアピールするべきだと感じた。去年よりもメンバーが多く、期間も限られていたことで、販売までの意見調整が難しかった。次回はもっとメンバー全員の考えが反映されるような活動にしたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

やってみたいなと思うところからアクションは始まっていると思います。まずは周囲に発言してみると、仲間が見つかると思います！アクションは大小関わらず世界を変えることができます。社会問題はどんどん深刻化しています。今、みんなが行動することが必要不可欠です！誰にでも世界を変える力があるので、みんなと一緒に世界を変えていきましょう！

FREE THE
CHILDREN

香港兒童
基金會

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

匯聚活動



名前/グループ名/グループメンバー

バラ☆フレ

もえか、こはる、きよくん、いざわ

人数

4 人

活動地

滋賀県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2022年11月26日～2023年4月2日



取り組んだアクション

発達障がいを知らない人や当事者の方に、講演や交流を通して発達障がいを身近に感じてもらうためのオンラインイベント。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インバクト人数

18 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

はじめは中学生3人のみで分からないことも多かったので大学生の方をサポートメンバーとして迎えたこと、より多くの方に参加してもらうためデザインが得意なメンバーがチラシやポスターを制作しチェンジ・メーカーズ・フェスなどで500枚近く配ったことや情報サイトや近所の公共機関・活動センターなどに宣伝をお願いしたこと。

Instagramを使い情報発信やインスタライブ・カウントダウンなどを行ったこと。



困難だったこと/次回に活かすこと

初めてイベントを運営したためどうすれば参加者が集まるのか分からなかったこと。さまざまな媒体で情報発信を行ったが直前になってしまったため次回は前もって宣伝をしたい。また、Instagramの運営も不慣れで試行錯誤した。メンバー内で仕事の分担がうまくいかないこともあった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

11月から準備してきて不安や緊張も大きかったが、当日は参加者の方の楽しそうなようすや顔を見られてとても嬉しかったです！アクションを起こすことでみんなが喜んだり楽しんだりしてくれてとても幸せな気持ちになるのでみなさんも臆することなくアクションを起こして見てください！

名前/グループ名/グループメンバー

こころ

人数

1人

活動地

千葉県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

部活動の地域移行

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 11月 11日



取り組んだアクション

毎日メディアカフェシンポジウム「部活動の地域移行で何が変わる？」～中学生とともに考える～に登壇。

スポーツ庁次長の方や、つくば市立谷田部東中学校校長、地方行政の方、そして私と同世代の学生達三名と部活動の地域移行について意見を出し合い、質問などをしながら新しい観点と触れ合うことができた上、部活動の地域移行に関連する他の社会問題についても学ぶことができました。YouTubeにて色んな学校の先生方に配信されていたため、私たち学生の声を先生方や大人の方達に聞いてもらうことができました。また、大人の方々との意見交換を通して部活動の地域移行を進めるためにはどうすればいいのかなどを話し合うことができました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

450人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

私は人前で話すことが得意な方ではないのですが（どちらかというと苦手）、このシンポジウムに登壇させていただけることになり、ある意味、全国の部活動をしている学生の代表として大人の方々とお話しさせていただける機会をいただけたので、すごく初歩的なことにはなってしまうのですが、自分が疑問に思ったことはしっかり質問し、自分の意見をしっかり言うということを頑張りました。



困難だったこと/次回に活かすこと

難しかったこととしては、大人の方々から沢山のお話をさせていただいた後に、学生に向けて質問をされた時に、考えがあまりまとまらないまま話してしまった部分があったので、頭の整理を充分する時間がない中でも考えをまとめて、人に伝えるということをもっと練習したいと思いました。



これからアクションを起こす人へメッセージ

誰でも苦手なことの一つや二つあると思います。苦手なことに自ら挑戦することはすごく怖い事だし、できれば避けたいと思うと思います。でも、意外とやってみたら楽しいと思えることもあるということを皆さんに伝えたいです。誰にとっても最初の一步は震えながら踏み出す大きな一歩です。でもその一歩を踏んでみたら意外と楽しいと思えたり、楽しいとは思えなくても思ったより苦痛じゃなかったと思えたり、新しい素敵な出会いがあったりします。なので、もし今、何かに挑戦してみたいけど、なんらかの気持ちで一歩を踏み出せずにいるのなら、自分を信じてやってみてください。応援しています。

名前/グループ名/グループメンバー

FTCJ子どもアンバサダー

みゆう

人数

1人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2024年 3月 15日



取り組んだアクション

学校の英語の授業で児童労働についてクラスで発表を行った。児童労働はどういう問題なのか、自分たちには何ができるのかを伝えた。

In other countries many children are working from a young age. They don't have money, so they have to work for exist.



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1 時間

◆ インバクト人数

30 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

児童労働のことを知らない人でも分かってもらえるようにイラストなどを使ってわかりやすくした。



困難だったこと/次回に活かすこと

児童労働のしくみをどうすれば上手く伝えられるかが難しかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

学校など身近な所でもアクションを起こすことができます。小さなアクションでも大きなアクションでも勇気を出してチャレンジしましょう。

名前/グループ名/グループメンバー

H&H

人数

2 人

活動地

埼玉県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

市民の日常生活

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2024年 3月 20日



取り組んだアクション

市長候補の方にFTCJを広め、市・市民に対する想いについてや社会問題についてお話しました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

4 時間

◆ インパクト人数

10 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

他に参加していた人とも深めることが出来ました。



困難だったこと/次回に活かすこと

もっと言語化できるように頑張る！



これからアクションを起こす人へメッセージ

できる、できる、頑張って！

名前/グループ名/グループメンバー

K.A

人数

50 人

活動地

三重県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

いじめ問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2022年 5月～2024年 3月現在



取り組んだアクション

自分と同じような、つらい経験をせず学校に行くことが出来るよう、自分の体験談を元に、中学英語スピーチコンテストで海外で実践されている教育多様性を調べ、日本の教育現場にも必要であることを発表。ホームステイ受入れや自身も海外のファームステイへ行き、教育の多様性について現在も積極的に学び続けている。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

限られた狭い環境の中、自分一人だけで考えるのではなく、色々な人の話や意見を受け入れて、そこから自分で考えることの大切さを学んだ。



困難だったこと/次回に活かすこと

日本の教育体制に疑問を持っているが、教職の労働環境の過酷さを報道等で聞いているため、頑張っている先生方を含む日本の教育体制を批判してしまう題材で発表することに躊躇した。中学校の先生に相談したところ、英語の不慣れな私にも積極的に発表に向けて応援してくれた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分一人では難しい場合でも、色々な人の意見や考えを受け入れていくと、無理だったことも解決方法が見つかることがあります。私はFTCJでのキャンプ参加がきっかけになり、どのように周囲へ働きかけるか等々、貴重な学びの体験をさせていただきました。皆さんにも是非アクションのきっかけになるFTCJでの活動に参加していただきたいです。

名前/グループ名/グループメンバー

しもえ

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利問題、難民問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年7月25日～2023年7月26日



取り組んだアクション

色々な人に子どもの権利問題、難民問題について知ってもらうために、それに関する資料を作ってInstagramに投稿した。



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

13時間

◆インパクト人数

人

◆その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

こども、大人両方にとって意義がある内容にすることを意識して、見やすく作った。



困難だったこと/次回に活かすこと

どうすれば興味をそそられる見た目になるかとか、必要としていたことの情報収集



これからアクションを起こす人へメッセージ

社会を変えることができるアクションを起こせるように応援しています。

名前/グループ名/グループメンバー

吉田日月生

人数

1人

活動地

埼玉県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

社会問題全般

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間

2023年8月16日



取り組んだアクション

アクションを起こす人の勇気になるように、自分にとってアクションを起こす時に大切なことをリレーコラム（FTCJ子どもアンバサダーが伝えたいことを発信する場）で発信した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

私が伝えたいことを、読む方たちが分かりやすいことに例えたり、事例を出したりした。また、自分が1番伝えたいことは、何なのかを考えて簡潔にまとめることを意識した。「文章書き方講座」で学んだことを活かした。



困難だったこと/次回に活かすこと

長すぎたり短すぎたり、自分の考えをそのまま書いても、私が伝えたいことは伝わらないので、読む方たちが、私の考えが伝わり、アクションを起こす勇気になるためにはどのような文章がいいのが難しかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

今、世界はみんなが何かしないと変わりません。解決しなくてはならない社会問題はまだまだあります。どんなに小さなことでもみんながやれば世界は変わります。社会問題を遠くの世界の問題ではなく、一人一人に関連しています。みんながChange Makerです！みんなのアクションで、みんなで世界を変えましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

はな

人数

100 人

活動地

埼玉県

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

お客さんに笑顔届け幸せの連鎖をつくるというアクションをしました。

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 7月 25日～7月 28日



取り組んだアクション

ハートグローバルのサマーキャンプに参加しました。このワークショップの中で地球を癒すためにはどうしたらいいか、という意見交換をして、最後の日に来てくださったお客さんに向けてショーを披露しました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

150 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

笑顔が全てではないけれどみんなで楽しめるように笑顔を心がけました。



困難だったこと/次回に活かすこと

感謝の気持ちを忘れないことです。



これからアクションを起こす人へメッセージ

私たち一人一人の力は少なくともたくさんの力が集まれば世界は変われると信じています。
We can change the world.

名前/グループ名/グループメンバー

Theatre We Will

坂口くり果

人数

7 人

活動地

モロッコ

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

国や地域による経験の格差

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年2月10日～18日



取り組んだアクション

演劇や舞台、英語にアクセスのない地域の子どもたちにそれらの楽しさを伝えるため、モロッコの山岳地帯にある施設で1週間幼稚園から小学生までの女の子50人ほどに英語で演劇にまつわるワークショップを行いました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

40 時間

◆ インパクト人数

50 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

現地の子どもたちは英語が話せないだけでなく公用語であるアラビア語の読み書きもできない子もいたため、最初の1-2日間はコミュニケーションの取り方にとっても苦戦しました。そのなかで、本来のいちばんの目的である彼女たちに演劇や舞台の楽しさを伝えるということを最優先にしようと、演劇だけでなく言語を使わずにできるダンスや小道具、衣装づくりに力を入れるように計画をシフトし、最終的に子どもたちに笑顔を届けることができました。



困難だったこと/次回に活かすこと

今回は初めての旅だったこともあり、なかなかスケジュールの変更や臨機応変さに欠け戸惑ってしまうことが多くありました。やはり実際に現地に行ってみないと、気候や子どもたちの状況、言語の壁などの程度は分からないため、次回からはスケジュールをすべて分単位で決めたり劇の原稿を決めきってしまうのではなく、実際に子どもたちと交流する中で彼らに合った方法で臨機応変に対応していくことを心がけたいと思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションは、どんなことでもいいんです。社会問題を解決するというと何かとても大きくて完璧にこなさなければと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、もっとラフに、どうすればみんなが笑顔になれるんだろう、ということを考えれば必然と手段は浮かんでくるかもしれません。どんなに小さなことでも、それは素敵なアクションで、必ず社会にインパクトを与えられます！一緒に楽しみましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

教育格差をなくす委員会

人数

3人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

アクションの種類 啓発活動・物資調達

支援先 エコトレーディング

実施期間 2023年12月24日～2023年12月25日



取り組んだアクション

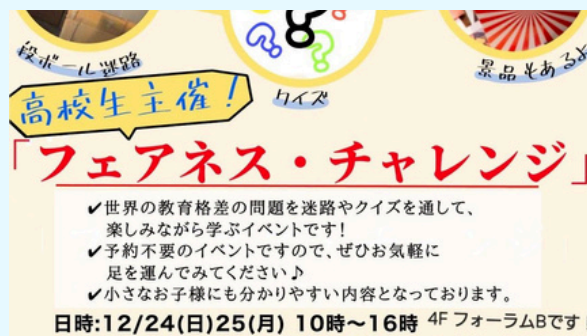
段ボールやパネルを使い、迷路を作った。その中には教育格差について調べたことをまとめた紙を展示した。また、迷路の分かれ道に、教育格差や貧困に関する2択クイズを設置し、正解の方に進むとゴールできるような仕組みにした。また、迷路とは別に展示のコーナーを作り、そこにさらに詳しく調べたことを展示しました。そして迷路内の展示を読んでいたら解けるような問題をいくつか用意し、正解数に応じて景品がもらえる仕組みにしました。さらに、文房具の寄附も募りました。

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

教育格差問題に対しイベントを開くアクションを起こした。



数値的成果

◆ お金の寄付

0円

◆ 物の寄付

文房具 多数個

◆ ボランティア時間

36時間

◆ インパクト人数

34人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

私たちの開催するイベントは若い参加者向けだったので、できるだけ楽しみながら学んでいただこう、迷路形式で展示を行ったりクイズを作ったりしました。最終的にたくさんの方々に参加していただき、教育格差について知っていただくことができました。



困難だったこと/次回に活かすこと

私たちは高校生3人のみでの開催だったため初めての事やわからないことが多く、時には準備が進まないこともありました。1番困ったことは、開催する会場選びです。来ていただきたい客層の多い立地であること、予算に収まる値段で借りれる場所であること、時間帯が合う場所、などたくさんの条件があり、一から探すのに苦労しました。そこで、メンターさんに相談してみたところ、たくさんアドバイスをいただくことができ、なんとか会場を抑えることができました。次回はより下調べをきちんとするようにしたいと思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

イベントを開催することは、たくさんの困難がありますが、それと同時に終わった後の達成感を得ることができます。今まで自ら行動することがなかった私たちも今回の活動を通して、行動を起こすことの大切さを学ぶことができました。ぜひ失敗を恐れず楽しみながらアクションを起こしてみてください。

名前/グループ名/グループメンバー

Free The Children Japan KUMAMOTO

もにか、りさ、ゆり、ひかり、ゆうすけ、こはな、
いろは、たつのり、さなえ、まりん、ゆきね、
こうたろう、りょうた、よしと、他1名

人数	活動地	区分
15 人	熊本県	高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働

アクションの種類 啓発活動、資金調達

支援先 プレダ基金/フィリピン

実施期間 2023年10月26日～11月19日



取り組んだアクション

熊本高校生フェスティバルでフィリピンのプレダ基金への募金を行うために、児童労働があることを訴えながらフィリピンの子どもの写真を持ち募金活動を行いました。またフェアトレードの代理販売とフェアトレードの紐を購入して、自分たちでミサンガを作り販売を行いました。



数値的成果

◆ お金の寄付	◆ 物の寄付
10,000 円	個
◆ ボランティア時間	◆ インバクト人数
97.5 時間	100 人
◆ その他	



工夫したことや達成したこと

すぐには募金が集まらず、どうすればいいか考えてこんでしまっただが、まずは児童労働があることを知ってもらうことで募金を促していこうと考えて、大きな声で何度も呼びかけを行った。結果、自然と足を止めてくださる方も増え、小さい子から年配の方までたくさんの年齢層の方からの募金を頂けた。販売している商品を見てもらうために、色や大きさに気をつけながら、可愛く見やすいPOPを作った。活動している内容のパンフレットを配布した。



困難だったこと/次回に活かすこと

フェアトレード商品に興味を持ってくれた方はいたが、商品を紹介するプレゼンが至らず買うまでの行為にはなかったことが挙げられます。↑販売する商品が『どこで作られたのか』『児童労働からどんな改善策があったのか』などをもっと理解して販売する。募金を2箇所に分かれてすることを想定しておらず、準備物が足りなかった。事前にシミュレーションに参加するみんなを確認して共有を行う。寒いなか、長時間立ったまま大きな声で呼びかけるので辛かった。次回は声を掛ける人と販売する人で時間ごとに交代したい。チラシ配りであまり配れず、気配りや思いやり、一人一人に寄り添う力が必要だと感じた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

大きな声を出すのは、最初は恥ずかしさだったり緊張するかもしれないけど、自分から行動しないと何も変わらないと思うし、実際に活動を行なってみて、恥ずかしさや緊張は最初のうちだけで後は自信を持ってやることができました。だから、最初の一步を踏み出すことが大事だと思います！ 問題があまり知られていないから、多くの人に知って貰いたいです。たった100円の募金でも、世界で困っている方への支援となります。積み重なることで多くの人を助けることができます。今回人生初めてのボランティア活動でした。勇気がでずなかなか挑戦することができませんでしたが今は活動に参加して本当によかったと思っています。少しでも興味を持っているという方はぜひ参加して欲しいです。とても楽しめそうですし良い経験になると思います。募金や、チラシ配りは、断られるととてもメンタルに來ますが、それを乗り越えるメンタルをつけることが、成長につながります。また、次、チラシ配りの人を見かけたとき、自分の経験から対応が変わると思います。

名前/グループ名/グループメンバー

かりん

人数

1 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

貧困問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

日本の人々に今日の貧困問題の現状を知らせるためにアニメーション制作をした。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1.5 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

- ・映像にすることで、文章よりも人に分かりやすく伝わる形になった。
- ・形が分かりやすい物(ヤギ、10円玉)にすることで、世界の人々にも何の絵なのか伝わるようにした。
- ・色は使いすぎず、シンプルで見やすい作品にした。



困難だったこと/次回に活かすこと

アニメーション作品で、この問題をどう表現すれば伝わるかずっと悩んでいた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

小さなチカラも、集めれば大きなものになるから、自信を持って行動して欲しい。

名前/グループ名/グループメンバー

松田唯

人数

1人

活動地

京都府

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年10月31日



取り組んだアクション

学校から生徒をあつめ、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンから借りた「児童労働シミュレーションゲーム」を使用し、児童労働とは何かを伝えるためのワークショップを開催した。今も世界中で生きていくために働いている児童を助けなければいけないという考え、意識を広めるために活動した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1 時間

◆ インパクト人数

22 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

アンケート結果で、全員が児童労働に興味を持ったと答えたことと、普通の講義の形だけでなく、ゲームというものを間に挟むことでより参加者が意欲的に参加することができるワークショップになったと考える。アンケートでは、「今まで他人事捉えていたが、こんなに悲惨な現状だとは知らなかった」「世の中には働く以外の選択肢がない子がいる現状は知っていたが、その働き先がこんなに過酷だとしなかった」などの反応が得られた。間にはさんだフェアトレード商品のお菓子や商品の紹介なども加えることで、少しでも児童労働に対してのアプローチが可能だということも伝えられたと感じる。



困難だったこと/次回に活かすこと

ゲームのシステム上、すぐに死、自立、のカードに行き着いてしまい、ゲームを楽しめない人がいた。ゲーム後、子どもの権利条約などについて講義をしたが、ゲームがメインの目的となり、参加者の意欲が下がったのが目に見えた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

とにかく少しでもいいから、自分の知っていることを外に出すということを大事にして欲しいです。自分の頭の中だけでは、世界をよくするには遠いです。何が自分の中で伝えたいことか、それがどんなに小さいことでも無駄にはなりません！！

名前/グループ名/グループメンバー

らん

人数

1人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年7月 25日～2023年 7月 26日



取り組んだアクション

子どもの権利条約を、知らない人に知ってもらえるように、認知度の高い曲を用いて歌詞動画を作成したこと。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

曲の歌詞と権利条約をマッチさせたこと。

曲：Mrs.GREEN APPLE

- ・スターライト＝希望の光、スタートラインと捉えて、スタートライン＝子どもの権利を知ること。
- ・眩しいけど見るまだ終われない＝人生が続いていく＝生存の権利。
- ・平気なふりをしていない？＝我慢＝発達の権利・保護の権利を使いたいの、周りを最優先ばかりしすぎて、我慢していない？
- ・寂しい夜 隠れるシャイな君だけど、寂しい夜＝1人でのいる＝保護の権利使えてる？ & 隠れるシャイなきみ＝自分の意見を出していない＝参加する権利使えるよ！！



困難だったこと/次回に活かすこと

音楽のリズムとスライドを合わせるのが難しかった。

例)

いいよもっともっと良いように。いいよもっと自由でいいよ。いいよもっともっと良いように。
↑子どもの権利条約を使って、自分のなりたい姿になろう！！

いっそ楽しもうmagicで日々を

↑magic＝子どもの権利条約。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションの手助けをしてくれる人が身近にいるから、周りの人たちと協力してチャレンジしてほしい

名前/グループ名/グループメンバー

みお

人数

1 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年7月 25日～2023年 7月 26日



取り組んだアクション

子どもの権利条約を知らない子どもたちに対して、スライドを見てもらって自分たちにも声を出す権利があるということを知ってほしいという思いを込めて、スライドを作りました。



子どもの権利条約

— 子どもの権利条約って知ってる? —



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

子どもたちに見たいと思ってもらえるように、イラストを多くして、口調も投げかけるようにした。



困難だったこと/次回に活かすこと

どこまで詳しく説明するのかに悩んだ。詳しくしすぎると、子どもたちが見る気にならないかもだし、でも大まかすぎると何を言いたいのかわからないかもだしということでその塩梅が難しかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

息詰まった時には人と話してみよう！自分が考えていなかったアイデアとかがたくさん出て来るよ！

名前/グループ名/グループメンバー

こりっぷる

涼生、心那、凌大、胡多、真里奈、莉莉花

人数

6人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

不平等な貿易(フェアトレード)

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年1月21日～2023年3月10日



取り組んだアクション

フェアトレードの認知度向上に向け、小さい子供とその親をターゲットにイベントを行いました。ZUSHI FAIR TRADE COFFEEやフェアトレード商品の入ったガチャガチャの販売、イースターエッグペイント(フェアトレードチョコ入り)、自らがカオ農家となることができるすごろくなどのアクティビティを用意しました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

20人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

縁乃庭を使うにあたって、そこで開催されている他のイベントにも多数参加したため、新たな関わりが増えたと共に、従来とは異なる層の方にフェアトレードを知ってもらうことができた。表を開けてチラシを貼り、中からも声をかけることができるようにしたことで、通りすがりの方も足を運んでくれた。また、当日呼び込む場合は自分たちは恥ずかしがらず積極的に声をかけることの必要性を痛感し、イベント当日は途中からビラ配りも行った。配る際に自分達の言葉でイベントをPRできる良い機会になった。そのおかげで数人足を運んでくださった方もおり、一定の効果を感じた。



困難だったこと/次回に活かすこと

集客は難しいため、早めに取り掛かるべきであった。特に、今回は当日にビラ配りを行ったが、開催地の1週間程前に行っても良かったと思う。また、今回、すごろくは少々ルールが難しく、小学校低学年には厳しそうであった。普段自分が接さない層をターゲットとする場合は、その層が何を求めているのか、どのレベルまで知識があるのかなどを十分に把握しておく必要があると強く感じた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こす場合、どの層にアプローチするのかをしっかりとめた上で方向性を決定するのはマストだったと思います！また、集客は妥協せず、自らイベントに出向き直接誘うのが1番効果があると思います！

名前/グループ名/グループメンバー

あやね

人数

1人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ウクライナとロシアの戦争に関してのボランティアに参加して募金を集めた。

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年11月 1日～2024年3月19日



取り組んだアクション

発展途上国の児童労働問題と医療問題を知ってもらうために学校の生徒に向けてレポートを作成し、プレゼンテーションを行った。



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

時間

◆インパクト人数

人

◆その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

知らない人にどうやったら深く伝えられるかを考えた。



困難だったこと/次回に活かすこと

学校だけではなくもっと色々な場所で活動出来ればよかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

ちょっとでも興味がある時点で踏み出すことで新しい世界が待っていたのでアクションを起こすことはとてもおすすめします。

名前/グループ名/グループメンバー

diadig

武田光平

人数

1 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

青少年のキャリア形成

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 12月 1日～2024年4月現在



取り組んだアクション

哲学対話を用いたキャリアプログラムを考案。青少年への影響を研究という形でまとめ発表や、OECD 共同プロジェクト内での発表や、ウェルビーイングと絡めて発表。今後はプログラムを実際に開催することを目標に活動する予定



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

多数のステークホルダーとの連携



困難だったこと/次回に活かすこと

企画書を1から作ること



これからアクションを起こす人へメッセージ

困った時は大人に助けてもらうこと

名前/グループ名/グループメンバー

Free The Children Japan KUMAMOTO

さき、あい、めぐみ、タルタルソース、さなえ、
こはな、ちか、ぴぐもん、ひかり、ゆり、はな、
ゆうすけ、ゆうせい、ゆうと、他10名

人数	活動地	区分
24 人	熊本県	高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働

アクションの種類 啓発活動

支援先 プレダ基金/フィリピン

実施期間 2023年10月22日



取り組んだアクション

ワークショップと講演を通じて、児童労働について考え、それぞれが自分にできることを考えた。フェアトレードの紐を使ってミサンガ作りを行った。出来上がったミサンガは今後イベントで販売し、利益を児童労働の子どもたちを救出・保護しているフィリピンの団体に寄付をする。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

60 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他



工夫したことや達成したこと

児童労働についてより知ることができた。服や食べ物を買う時は一度よく考えて手に取り買うことに心がけるなど、これからの自分のアクションを考えることができた。他校の人や違う学年の人とコミュニケーションをとることができた。フェアトレードの商品に対する意識を高めることができた。



困難だったこと/次回に活かすこと

自分にできることがすぐに思いつかなかったことが反省点です。活動に参加する時はもっとより多くの人を誘って参加をして行きたいと感じた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

普段時間がない自分でも少し参加できた事で、もっといろんなボランティアにこれから参加していきたいなと視野を広げることができたので、ぜひ一歩を踏み出してみてください。/是非参加してみてください！/自分ができることを見つけて頑張ってください。/頑張りましょう/児童労働をこれ以上増やさないように小さいことでもまいにちやる！/皆で児童労働をしている子どもたちを救おう！思ったよりも簡単に出来るが多かったから、やりやすいです。/皆で児童労働を減らしましょう/児童労働について知ろうとすること、なにか試してみることがまず大切だと思うから、気持ちを大事にしてほしい。またそれによって助けられる人がいることを忘れないようにしてほしい。/ためらわないで行動してほしい/いろんなものをすぐ買わずに本当に必要なのか考えてから買ってほしい。食品などは少しでもフェアトレードのものを少しでも買うようにしてほしいです。/服を買う頻度を抑えるなど今すぐから出来ることで問題改善に繋がるので、まず児童労働について深く現状を知ってもらって行動を起こして欲しい。/まずは人に教えてもらうことから始める/児童労働問題と聞いてもあまり深く考えることがある機会は少ないと思います。このような機会を通して学ぶことで、このような問題に気づくことができ、解決に近づけるための方法について考えることが出来ました！/是非もっと児童労働について考えてみて、どんな事が児童労働減少につながるのかをよく考えて過ごしてほしいと思いました。

名前/グループ名/グループメンバー

Bullyless World

武田光平

人数

5 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

発達障害の啓発活動

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年2月 18日～2023年12月30日



取り組んだアクション

発達障害の人が、10人に1人いる中で、誤解されずにより良く生活しやすい環境を作るためのワークショップです。

また、公立小中の8.8%、1クラスの3人が発達障害の可能性があるとされています。

このワークショップでは発達障害の子どもが抱える課題を学んだのちに、トークセッションを通じて理解を深めます。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

20 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

イベント開催時には、いかに座学中心ではなく、ワークやセッションを通じて退屈にさせずに、聴いてもらうかということを意識してイベント立案をしました。また、集客についてはなかなか苦労している部分が今でもあるので、そこは同じような活動をしてらっしゃる方と連携をして周知することを工夫しました。



困難だったこと/次回に活かすこと

やはり集客がいちばんの課題であり、どうしても届いて欲しい層には届かないという問題があります。また、高校生のメンバーでの運営ということもあって受験があって途中で抜けたりするケースもあったので、引き継ぎを改善するなどさらによくして活動を継続していきたいと思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

色々な課題が立ちはだかり、やめたいと思う時がありました。2週間前なのに人が来なかったり、プレゼンがうまくいかずにオーディエンスが離脱したりなどです。ですが、とにかくやってみるということはとても意義を感じます。そのため、今後もアクションを続けていこうと思うし、社会的なインパクトをより与えるため努力しようとも思います。そして同世代と協力して社会課題を一つでも解決したいと思っています。一緒にがんばりましょう

名前/グループ名/グループメンバー

madoka

人数

1 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

主に気候変動

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

自分の所属している団体へ、今の環境問題について知らせた。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

団体の人に伝えるので、どのような表現にするかやイラストや図表をどこで使うかなどを工夫した。



困難だったこと/次回に活かすこと

皆に伝わりやすい表現や形式、文字数などを考えるのが大変だった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

誰かに伝えるというのはいろいろなアクションの中でも簡単なものだと思うので、家族や友人に伝えたり、SNSで呼びかけるなどして気軽にアクションを起こしてほしい。

名前/グループ名/グループメンバー

JINA（国際協力部）

人数

4 人

活動地

茨城県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

貧困

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 6月10日



取り組んだアクション

フェアトレードを知らない人達に、フェアトレード商品を実際に手に取り、商品の背景にあること、またはどのような支援に繋がるかを知ってもらう。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

16 時間

◆ インパクト人数

100 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

多くの人の目を引くようなpopづくりを工夫した。



困難だったこと/次回に活かすこと

今回は感染対策もあり、袋詰め以外の食べ物販売は出来なかったが、次回はフェアトレードコーヒーの試飲など、もっと多くの人に足を止めてもらえるような活動をやってみたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

私達は3人の小さな部活ですが、今回は多くの人にフェアトレードについて知ってもらうことができました。まずはできることから動くことが大切だと思います。

No.51

名前/グループ名/グループメンバー

Quinn Carlson

人数

1人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

在日外国人の問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年7月 25日～2023年 7月 26日



取り組んだアクション

インスタグラムの啓発活動



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

英語を含んだ。デザインにこだわった



困難だったこと/次回に活かすこと

時間内に終わらせられなかった。音楽をつけてみる



これからアクションを起こす人へメッセージ

誰にでも変化をすることができるから、自分の可能性を信じて！

名前/グループ名/グループメンバー

はると

人数

1 人

活動地

千葉県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 7月 25日～26日



取り組んだアクション

子どもの権利についてよく知らない人のために、簡潔に分かりやすくまとめた。より多くの人に子どもの権利について理解してもらい、大人と子どもがどちらも尊重できる社会の実現を促す。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

子どもの権利についてよく知らない人も、まずは簡単に知れるように、わかりやすいタイトル、見やすいフォント、可愛いキャラクターなどを用いて、簡潔にまとめた。



困難だったこと/次回に活かすこと

ネットに書いてある"子どもの権利条約"は文章が難しくなっている場合があったので、文章を読んで自分なりに解釈し、誰が読んででも分かりやすいように文章に書き起こした。



これからアクションを起こす人へメッセージ

不安要素やデメリットなどを考え、アクションを改善するのは大切だが、まずは行動することが成功することへの何よりの近道。

名前/グループ名/グループメンバー

Free The Children Japan KUMAMOTO

さき、るな、もにか、あやさ、りさ

人数

6 人

活動地

熊本県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

児童労働問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年7月2日～2023年7月12日



取り組んだアクション

児童労働問題について一般の方々に深く考えてもらうために児童労働をテーマとした展示会を行った。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

児童労働問題について知らない方に情報を伝えるために資料を貼り、一部の作品の隣にはその作品に込められた意味を書くなど工夫をした。展示を見た人の「生産・消費」に対する考え方を変えることができたと思う。



困難だったこと/次回に活かすこと

次回はより多くの人に来ていただくためにエキシビションの宣伝に力を入れたい。更に身近なブランドの労働問題を取り上げるなどしてより興味深い展示をしたいと思う。



これからアクションを起こす人へメッセージ

今世界でどんな問題が起きてどうすれば解決に努められるのかを考えて伝えることが社会問題の解決への第一歩に繋がるということを今回の活動を通して学びました。そのため、アクションを起こす時にはまず情報を伝えることで始める必要があると思います。

名前/グループ名/グループメンバー

2023年度「災害とボランティア」選択者

人数

19人

活動地

兵庫県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

農業と漁業の後継者問題、防災意識の向上、避難所及び福祉避難所の質の向上、災禍（戦争及び災害）の風化防止

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年5月23日～2023年9月14日



取り組んだアクション

科目「災害とボランティア」選択者19名が6つのグループに分かれて、6つのテーマ「農業と漁業」「防災」「避難所」「福祉避難所」「2つの災禍(戦争と震災)を乗り越えた建造物(神戸モスク、ガリバートンネル)」「神戸大空襲」について探究学習を行った。

各テーマに関わる人々のお話を伺い、課題を見つけてアクション（イベント参加やポスター作成など）を起こした。

それぞれの探究活動の過程をまとめて冊子を作成して、ソーシャルアクションの大切さを広めた。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

探究のサイクル（情報収集、情報分析、意思決定、参加および提案）をもとにしてアクションを行った。情報収集及び情報分析の際に、テーマの当事者とコンタクトをとり、インタビューを行なった。書籍や新聞記事、インターネットなどの情報とインタビューの内容を擦り合わせて自己決定をし、参加及び提案を行なった。各グループは活動を取りまとめた冊子を作成し、活動を広めた。



困難だったこと/次回に活かすこと

各グループで様々な困難があったが、全グループが困難だと思ったのは、インタビューと自己決定であった。インタビュー先の決定と質問内容の作成では、テーマの情報を収集するだけでなく、分析して見解をまとめるための必要があった。限られた時間の中で取りまとめて、先方からありがたい話を伺うことができた。また自己決定では、書籍やインターネットの情報とインタビュー先で得た現場の問題を取りまとめる必要があった。次回は、決められた期間の中でより充実したアクションを起こせるように、ゴールから逆算して計画を立て、適宜修正して臨機応変に活動したい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

「コミュニケーションする」「アクションを起こす」と言われると、少し身構えてしまうかもしれない。もしも話すのが苦手なら、まずは聞くことから始めたらいいと思う。そして、アクションに関わっていくと、自然と言いたいことが湧き出てくる。アクションについても一緒だ。社会問題に対して、自分たちができることをするのだ。気負いすぎず、一歩を踏み出してほしい。

名前/グループ名/グループメンバー

2023年度「災害とボランティア」選択者

5名 (I、O、N、M、M)

人数

5人

活動地

兵庫県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

農業と漁業の後継者問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年5月23日～2023年9月14日



取り組んだアクション

科目「災害とボランティア」にて、農業と漁業をテーマにして社会参加型探究活動を実施した。農業従事者と漁業従事者にコンタクトを取り、双方が直面している問題は何かインタビューを行った。そこで得た一次情報と書籍やインターネットから得た情報を擦り合わせたところ、双方の共通している問題は、後継者不足であり、起こすべきアクションは、まずはその現状を若い世代に知ってもらうことだとわかった。そこで、ポスターを作成して校内に掲示した。また、授業で行なった各グループの活動を冊子にまとめ、アクションの重要性を広めた。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

探究のサイクル（情報収集、情報分析、意思決定、参加および提案）をもとにしてアクションを行った。情報収集及び情報分析の際に、テーマの当事者とコンタクトをとり、インタビューを行った。書籍や新聞記事、インターネットなどの情報とインタビューの内容を擦り合わせて自己決定をし、アクションを実施した。農業班と漁業班の二手に分かれてインタビューや情報収集を行った。



困難だったこと/次回に活かすこと

農業と漁業をテーマにアクションを行ったが、インタビュー先や実施時間の確保が困難だった。しかし、一旦インタビューが始まると、こちらの質問に丁寧に答えてくださり、本当にありがたかった。次回に活かすことは、どうしようかと悩んでいるだけでなく、動きながら考えていき、アクション実行のために前に進んでいくことだ。



これからアクションを起こす人へメッセージ

授業で「アクション」を起こす、と言われた時、自分たちでそんなことができるか不安だった。でも、当事者のお話を伺い、グループで話し合いをしていくうちに、自分たちのアクションの形が決まっていっていった。私たちのアクションは決して大きいものではないかもしれないけれど、このようなアクションを続けていくことが社会を変えていく力になると思う。

名前/グループ名/グループメンバー

「災害とボランティア」選択者

3名 (T、N、M)

人数

3人

活動地

兵庫県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

神戸大空襲の体験の風化

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間

2023年5月23日～2023年9月14日



取り組んだアクション

科目「災害とボランティア」において、神戸大空襲をテーマにし、社会参加型探究学習を行なった。「神戸空襲を記録する会」の事務局長の方にインタビューを行い、神戸大空襲の体験者の方々の語りについてお話を伺った。書籍やインターネットの情報と擦り合わせ、戦争を起こさないために求められる力は、洞察力・危険察知能力・政治的知性であると決定した。そしてアクションとして、このことを新聞としてまとめ、学校内に掲示した。探究活動の過程をまとめて冊子を作成して、ソーシャルアクションの大切さを広めた。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

インタビュー前に、様々な情報を収集して、神戸大空襲の基本的なことについては知っていると思っていた。しかし、伺ったお話の内容は、戦争は普通の人の心を変えてしまうものであり、防空壕や水回りに避難しても、多くの命が助からなかったことなど、知らなかったことばかりだった。戦争は決して起こしてはならない。そのことを周りに伝えることができた。



困難だったこと/次回に活かすこと

探究当初は、神戸大空襲を体験した方のお話を直接伺いたいと思って、こちらからコンタクトを取ったが、先方が体調不良などで、インタビューを実施できなかった。まさに、戦争体験の風化を感じた。そこで、視点を変えて、「神戸空襲を記録する会」の方とコンタクトを取ることができた。この経験から、問題を解決するためには、物事を柔軟に変えていける臨機応変な行動が大切だとわかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションを起こすとすると、ハードルが高いように感じてしまうかもしれない。しかし、グループの仲間からの言葉をまずは受け止め、そして考えをまとめていくうちに、不安よりもこのグループでアクションまで達成したい！と前向きな気持ちになってくる。

名前/グループ名/グループメンバー

たまき

人数

1人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ジェンダー問題

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

新聞に自分の経験を元にしたジェンダー問題に関する意見を投書した。

東京新聞 TOKYO Web

「発言」への投稿フォーム

「発言」「ミラー」への投稿フォーム

数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

自分だからこそ書ける、大学生だからこそ書ける意見を書くように工夫した。
新聞という普段私があまり関わらない世代にも発信できるツールを使用して、自分が置かれている今の現状を知って欲しいと思った。



困難だったこと/次回に活かすこと

どこの新聞に投書すべきなのか、匿名なのか、どういうコンセプトを持った投書なのかがわからず、どこに送るか探すのに苦労した。次回からは事前に新聞を読んで空気感を実感した上で、新聞に掲載しやすい文体やコンテンツを意識したい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分1人の力では何も変えられないと諦めてはいませんか？
では逆に自分は誰かの言葉で変化したことはありませんか？
家族や先生、友人など様々な人の発言や経験によって自分は変化し続けているはずです。
だからこそあなたの一歩が誰かの変化の一助となるはずです。

名前/グループ名/グループメンバー

ようこ

人数

1人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ごみ問題、発展途上国の雇用創出、医療面の問題(ポリオワクチン寄付)

アクションの種類 啓発活動

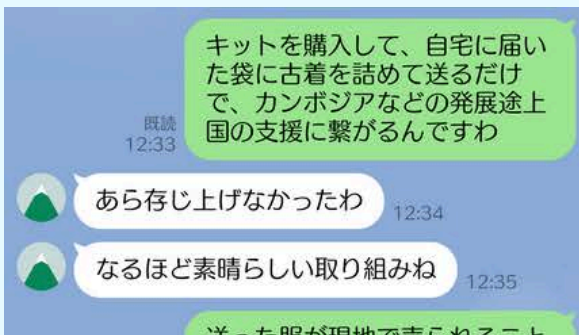
支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

古着deワクチンという団体からキットを購入して、実家に眠っているもう着なくなった服を家族全員分断捨離して寄付する計画を立てた。が、おうちdeアクションの時間内に終わらなそうだったので、この団体について皆に知ってもらおうと考え、友達5人にLINEでプレゼンした。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

6人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

本当は実家の母とLINEをつないで一緒に古着を整理しようと思ったが、連絡がつかなかったの、じゃあこの活動をみんなに知ってもらおうと切り替えて、友達にLINEでプレゼンした。



困難だったこと/次回に活かすこと

発信力としてはやはりTwitterなどが強いが、今現在Twitterをしておらず発信力が弱かなと考えたので、今回は友達にLINEという形にして、少人数により詳しくプレゼンした。今後SNSも上手に使うてより広く発信できるように練習していこうと思う。



これからアクションを起こす人へメッセージ

身近なことかつ今回きりで終わらず継続していけそうなことから始めるのもアリだと思います！

名前/グループ名/グループメンバー

FTSN

人数

4人

活動地

佐賀県

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

フェアトレード活動に取り組む学生のリーダーシップを図るためのアクション

アクションの種類 啓発活動

支援先

実施期間 2023年 2月 17日



取り組んだアクション

FTSN（フェアトレード学生ネットワーク）が、Wake Up Japanの鈴木洋一さんをお招きして、フェアトレード・リーダーシップ研修を実施しました。前半は、自分にとって大事にしている価値観について、モチベーショングラフやカードを用いて、価値観の言語化と互いの価値観を認めあう活動を行いました。それぞれの考えに対して、why（なぜ）を問いかけながら深いお話をすることができ、自分自身を客観的に見つめなおすことができたり、相手の人となりを知ることができたりしました。後半は、レジリエンスについて様々な事例から学びを深めました。特に、オーストラリアのFairly Educatedのお話では、フェアトレード大学を6年間に9つまで増やしたことに對して、驚いていました。今後のフェアトレードの推進活動をする上での、モチベーションの向上に大きくつながるワークショップになりました。

数値的成果

◆ お金の寄付	◆ 物の寄付
20,000 円	個
◆ ボランティア時間	◆ インパクト人数
時間	3 人
◆ その他	
その他の数値	



工夫したことや達成したこと

工夫したこととしては、少人数であったため、各メンバーが平等に話せるように進行を行いました。また、今後のフェアトレードの推進活動をする上での、モチベーションの向上に大きくつながる、ワークショップになりました。



困難だったこと/次回に活かすこと

今回のイベントでは、参加者同士が考えや意見だけでなく、気持ちの面を共有できるようなコンテンツ、進行をしていきたいと思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

同世代が同じ方向をむいて頑張っている姿に刺激を貰っているので、みなさんのアクションが楽しみです、お互いに頑張りましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

FTCJフィリピンスタディーツアー
2023参加メンバーのはな、ゆあ、ももか、しひろ、なおや、
ゆう、なっち

人数

7人

活動地

東京都

区分

中学生・高校生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

フィリピンのスラムの問題を広めた

アクションの種類 啓発活動

支援先

フィリピンナボタスのデイケアセンター

実施期間

2023年11月12日



取り組んだアクション

2023年4月にフィリピンのナボタスという都市のスラムを訪れました。スラムは想像していた通りに環境が悪く、想像に反して、子ども達の笑顔にあふれていました。楽しそうに手遊びをし、きらきらとした顔で自分の夢を語る子ども達。私たち日本人と変わらぬ夢を持っているのに、環境が違うから、その夢が叶わないことがある。「現状を変えたい」「あの子ども達の笑顔を絶やしたくない」と思いました。しかし、私たちだけの力ですべてを解決することは到底できません。この問題についてより多くの人に考えてもらうために、スラムの現状を伝えるイベントを開催し、スラムの子ども達のインタビューや、実際に行って感じたことを発表しました。そして、子ども達に「私たちが応援しているよ」と伝えるために、参加者と共にガーランドを作り、文房具と一緒にスラム内にあるデイケアセンターに送りました。



数値的成果

◆ お金の寄付

0円

◆ 物の寄付

文房具 50以上 個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インバクト人数

20人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

集客のために、Instagramやチラシを活用しました。Instagramでは、スタディーツアーの様子や、イベントの目的・やりたいことのまとめなどを投稿しました。当日は20人の方に参加していただき、楽しく学ぶ素敵なイベントになりました！スライドの作成では、数人ですべて作ってしまうのではなく、分担して全員がスライドを作るようにしました。メンバーみんなの想いをしっかりと伝えられるスライドができました。ただ一方的に話を聞くだけでは深い関心を持ってもらいにくいと考え、簡単なグループワークを行ったり、ガーランド作りで自ら行動してもらう時間を作ったり、スタディーツアーに行ったメンバーと話す時間を作るなどの工夫をしました。



困難だったこと/次回に活かすこと

メンバーそれぞれに予定がある中で、準備を計画的に進めていくことが難しかったです。初めに長期的な計画をきちんと立てたり、やるべきことの洗い出しができなかったため、やるべきことが出てきたらその場で慌てて対処するような準備の仕方になってしまいました。具体的には、スライドの完成が前日の夜になってしまったり、Instagramの投稿数が想定していたよりも少なくなってしまったり、名簿や、発表の分担票の作成がギリギリになったりしました。次にこのようなイベントを行うことになったら、初めにやるべきことの洗い出しをし、しっかりと役割分担をして計画を進めていきたいです。



これからアクションを起こす人へメッセージ

何か現状を変えたい！と思っても、自分にできるのはちっぽけなことで、「不甲斐ない」「悔しい」と思うかもしれません。でも、そのちっぽけなことをいざ行動に移してみたら、仲間が増えて、いろんな人が手助けしてくれて、誰かの心が動いて。そうやって輪が大きくなっていきました。その輪に触れた誰かが、一人でも笑顔になってくれていたら、それだけで私は嬉しいです。ちっぽけなことを重ねて、私たちの世界を少しずつ変えていきましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

Take Action Camp Japan 2023夏
オンライン署名アクションチームこたろう、みく、みや、ゆうすけ、かな、ゆう、ゆに
他8名

人数

15人

活動地

静岡県

区分

小中高生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ジェンダー、プラスチック、
気候変動、食品ロス、人権、差別

取り組んだアクション オンライン署名サイト「Change.org」にて、署名を立ち上げた。

1. 海洋プラスチックで傷つけられたり、死んだりする動物を減らしたい！！
2. 森永のお菓子の包装を紙に変えてください！！
3. 結ばれないのはロミジュリだけじゃない？！
4. 食品ロス削減のために小学校の授業で給食の食べ残しで肥料を作る時間を
5. 余った食材を給食に取り入れたい

他3件

アクションの種類 啓発活動

実施期間 2023年8月20日～8月21日



工夫したことや達成したこと

- ・問題について調べ話し合い、メンバーの意見をひとつにまとめるコミュニケーションをとった。
- ・メンバーと話し合うとき、相手ばかりに話させるのではなく、自分の意見も伝えることができた。
- ・具体的な数値や写真を取り入れたこと。
- ・なるべく具体的な目標にし、達成したいことがわかりやすいように心がけた。
- ・大勢の人が理解しやすい様に文体を変えた。
- ・長々と書かずに簡潔にまとめた。



困難だったこと/次回に活かすこと

- ・問題についてあまり知らなかったこと。次回は、もっと勉強してから立ち上げたい。
- ・作成時間が短い中で文章を書きあげること。伝えたいことを簡潔・明確に伝えられるようにしたい。
- ・書き出しなどよりインパクトのある文面にしたい。成功している署名を参考にして改善したい。
- ・やろうとしていた署名活動がすでに行われていて、次のアプローチを考えることが難しかった。解決策をもっと知り、みんなで共有して実行したい。
- ・解決するためにどんな署名を集め、誰に提出すればいいのか、途中でよく分からなくなってしまった。大きな問題に対して、いきなりそれ自体を解決することは難しいため、それを達成するための小さなゴールを考えるのが難しかった。もっと自分の身近なことにひきつけて考えるようにしようと思った。



これからアクションを起こす人へメッセージ

- ・困難なこともあるかもしれないけど、がんばれ！
- ・自分の得意なこと、好きなことから連想して自分の変えたい世界を考えて、アクションプランを立てると「自分にも世界をかえることができるんだ」という自信がわいてきます。「世界を変えたい」と大きく考えるのではなく、「ここにいるこの人にこうしたい」と考えることが大切だとこのキャンプを通じて感じました。時間をかけてじっくり考えて、アクションを起こしてほしいです。頑張ってください。
- ・そのアクションを起こすことで何を達成させたいのか、はっきりさせてからアクションの具体的な内容を考えていくといいと思います。また、オンライン署名だったら「プラスチック包装をなくす！」など抽象的なことよりも「森永のプラスチック個包装を紙にかえる！」などなるべく具体的にしたいほうが伝わりやすいと思います！！
- ・色々なことをやってみないと分からないこともあるので、たくさんチャレンジしてみたほうがいいですよ。
- ・一人でアクションを起こす自信がないかもしれないけど、あなたがアクションを起こせば世界の人々も救われるので、恐れずに頑張ってください！
- ・大きな問題を解決するためには小さなアクションの積み重ねが大切という事を改めて認識しました。これからアクションを起こす人にも、小さなアクションが大きな問題を解決する1歩になると思って活動してほしいです！

名前/グループ名/グループメンバー

Take Action Camp Japan 2023夏
啓発アクションチーム

じゅん、かほ、あんな、さら、らら、ひかる、他13名

人数

19人

活動地

静岡県

区分

小中高生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ジェンダー、気候変動、
食品ロス、ジェンダー、貧困

取り組んだアクション 社会課題を伝えるための、画像や動画・ポスターを作成して発表した。

1. ほかの国と日本のジェンダー問題への取り組みを比較したInstagram投稿画像を作成した。
2. 日本のジェンダー問題について、現状や自分たちにできることをまとめた動画を作成した。
3. 気候変動の現状や自分たちにできることをまとめた動画を作成した。
4. 日本の相対的貧困について、分かりやすい説明や自分たちにできることをまとめた動画を作成した。

他1件

アクションの種類 啓発活動

実施期間 2023年8月20日～8月21日



工夫したことや達成したこと

- 多くの人が見やすいように短めの動画にしたが、伝えたいことはしっかり入れたこと。一目でみてぱっと分かるグラフを用いたこと。
- インスタで同世代が見たくなるようなデザインにし、興味を引くようなトピックにした。
- みんなに伝わるように、絵を綺麗に描いたこと。わかりやすいタイトルを決めたこと。
- プラスチックの問題が海に住んでいる動物たちに影響があることを伝えるために、魚の顔を怒っているイラストにしたこと。



困難だったこと/次回に活かすこと

- 画像を並べるだけになってしまったので、次回はテキスト、画像と流れを変えて挑戦してみたい。
- 動画作成アプリのダウンロードから始めたので、作成が終了したのが時間ギリギリになってしまったこと。2人でもっと役割分担ができればよかった。
- 一人で投稿を作り、時間内に完成させること。文字の配置をどうすべきか悩んだ。
- 問題を伝えるために、何を説明するか、どういう絵を描くかを決めること。2人以上でアクションを起こす場合は、一緒にしっかり考えてから行いたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

- 最初は不安なことが色々あるとおもいますが自信を持って頑張ってください！
- 大変なこともたくさんあると思いますが、一人でなんとかしようとせず、周りの頼れる人に相談してみてください。とにかく楽しんでやるのが大切だと思います。皆で協力し合い、自分の個性を生かしたアクションを起こしてみてください！
- 自分の本当に興味あることについて調べると楽しみながらアクションを起こせると思います
- これから、色々大変になると思うけど、でも大変なことを乗り越えたら必ず成果が出ると思うから、何事も諦めずに頑張ってください！
- 自分一人だけでも世界は変わるし、その自分が誰かに伝えるだけでも少しでも意識してくれる人が増えたりする、そのちいさな意識が大事だと思います！
- アクションは、絶対に不可能ではない！

FREE THE
CHILDREN

香港兒童
基金會

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

政策提言



名前/グループ名/グループメンバー

波田野優

人数

1人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの権利

アクションの種類 政策提言・啓発活動・ボランティア

支援先

実施期間 2023年3月30日～2024年3月24日



取り組んだアクション

- ・ こども基本法施行&子どもの権利条約批准29周年記念イベント『こども基本法でどう変わる?どう活かす?』登壇
- ・ 「子どもメガホンプロジェクト」メンバーになる、活動報告会登壇
- ・ 日本若者協議会主催「こども国会」参加
- ・ 同世代との意見交換や国会議員と対話をし、教育をテーマに提言発表
- ・ こども家庭庁小倉こども政策担当大臣訪問
- ・ 「#10代のモヤモヤキャンペーン」で集めた1,096人の子どもと若者の声を届けた
- ・ 「こどもから大人や社会に向けた手紙」小倉担当相に届ける 教育新聞掲載
- ・ NGO法人Child Fund Japanグルーミング防止啓発グループに参加
- ・ FTCJ スタツア報告会「同じ夢を見るスラムの子たちへ」企画・運営
- ・ 新宿野宿労働者の炊き出しボランティア
- ・ 杉並区子どもの権利ワークショップメンバーとなる



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

今回は、私が所属する複数の団体の方と協力してイベントの企画をする機会がありました。多くの方と子どもの権利について考えることで、新たな視点に触れることができました。その中で、物事を多角的に捉えることの重要性を学びました。子どもの権利が守られる社会を実現するためには、多くの人の理解が必要です。より多くの人の子どもの権利に対する理解を得るには、子どもの権利の正しい理解を広める必要があります。それぞれの人が置かれている立場や環境によって子どもの権利に対する理解が異なるということを学ぶことができました。さまざまな立場に置かれる人の子どもの権利に対する理解を得るためにも、多角的な視点から問題と向き合っていきたいです。政策提言をする際には、どのような材料を持ち合わせて相手が納得するような話をするか工夫しました。実際にいじめや虐待を受けた子どもたちの声を取り上げ、インパクトを与えて関心を促すようにしたり、批判的な言葉はあまり使わずに伝えるようにすることや話し方なども意識することで、自分自身の熱量や伝えたいことが伝わるよう、意見のすり合わせを積み上げてきました。



困難だったこと/次回に活かすこと

子どもの尊厳が守られる社会の実現には、幅広い世代の人々の理解が必要です。しかし、現在の日本社会では、子どもの権利の問題は「自分は大人だから関係がない」、「自分はいじめや虐待を受けていないから考えることがない」など、あまり身近なこととして意識されていません。そのため、人々の意識を変え、子どもの権利に対して親近感がわくように伝えるということが難しかった点の一つです。今後は実際にいじめや虐待を受けた子どもたちの声を取り上げ、インパクトを与えて人々の関心を促すと同時に、子どもの権利に対する理解が子どもや若者のウェルビーイング実現に繋がるということについても声をあげていきたいと思っています。国の機関への提言は決して簡単なことではなく、さまざまな考えを持った議員の方々がいる中で提言内容に対して理解を持っていただき、実現する可能性はとても低いように感じています。そのような理由から、人々の意識を変え、子どもの権利に対して親近感がわくように伝えるということが難しかった点の一つです。今後は実際にいじめや虐待を受けた子どもたちの声を取り上げ、インパクトを与えて人々の関心を促すと同時に、子どもの権利の正しい理解が子どもや若者のウェルビーイング実現に繋がるということについても声をあげていきたいと思っています。



これからアクションを起こす人へメッセージ

年齢は私たちを定義するものではありません。私たちには、クリエイティブな創造力と変化をもたらす行動力があると信じています。私たちの一歩は、大きな影響力を持ち、互いに応援し合うことで、大きな変化を生み出すことができます。私たちの言葉の力を信じて、一緒にアクションを起こしましょう！私は活動をする前、誰が自分の声に耳を傾けてくれるのか、全く分かりませんでした。私自身も、子どもである私が声を上げることの重要性に気付いていませんでした。でも、私がアクションを起こして初めて子どもの声がこんなに力を持っているのだと気付かされました。子どもには世界を変える力があります。世界を変えることは、ほんの小さなアクションをきっかけに、一人の人間の勇気から始まります。さあ、私たち自身のため、世界中の人々のため、未来のすべての子どもたちのために、一緒にアクションを起こしましょう！

名前/グループ名/グループメンバー

I.G

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ヤングケアラー・子どもの貧困・教育格差

アクションの種類 政策提言

支援先

実施期間 2022年1月30日～2023年12月25日



取り組んだアクション

元小学校教員で現横浜市議員（こども青少年・教育委員会委員長）とヤングケアラー支援に関する意見交換を行った。また、ヤングケアラー当事者も支援者もWIN-WINになるサステナブルな支援についての提言を伝えさせていただいた。

訳をしている話からヤングケアラーに興味を持ったそうです。自分で調べて、ヤングケアラーも支援者もWIN-WINのなるサステナブルな支援をめざすと、決めたことへ近づくために、話を聞きたいとのこと。すでに東京学芸大学高校探求プロジェクトでも発表していて、提言書がまとまりました。学校や地域の気づきや専門職とのつながりやゆるく集まれる場所の必要性などを話し合いました。かながわこども目録会議にも出場するというので楽しみです！

そして、今日はのヤフーニュースにヤングケアラー支援法制化のニュースが出ました。注目していきます。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

こども家庭庁の「こども若者★いけんぷらす」やNPOを通じた提言は経験があったが、個人的に議員と連絡を取り事務所を訪問することは初めてだったため、最初は勇気が必要だった。高校生の自分が市議の先生に時間を割いていただくためには直接思いを伝えた方がよいと考え、街頭演説の際に対面でヤングケアラー政策についてお話を伺いたい旨を伝えた。直接、自分の思いを伝えて内諾を得たうえでメールで日程調整を行ったのでスムーズに進めることができた。



困難だったこと/次回に活かすこと

事務所を訪問する日程を決める際に、冬休み期間であれば平日の昼間に訪問できると考えていたが、12月は市議会が開催される忙しい時期だった。議員の先生とアポイントを取る際は議会日程なども考慮することが必要であることを学んだ。



これからアクションを起こす人へメッセージ

政策提言というと、とても難しいことのように感じるかもしれませんが、社会課題の改善・解決に向けて真剣に話を聞いてくださる方も多くいらっしゃるの、自分なりに準備をしたうえで政策提言のアクションを起こしてみると、新たな気づきや学びを得ることができると思います。

名前/グループ名/グループメンバー

みこと

人数

11 人

活動地

栃木県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

教育現場での不適切な指導

アクションの種類 政策提言

支援先

実施期間

2023年11月5日



取り組んだアクション

義務教育の現場での教員による不適切な指導について自分の体験を発信し、こどもの権利の尊重と公教育の改善を求めるため、こども家庭庁主催の、こども基本法から考えるこどもまんなか社会シンポジウムに登壇しました。その場で、こども家庭庁長官にも直接、こども家庭庁への要望をお伝えしました。シンポジウムのアーカイブは今でも、こども家庭庁の公式YouTubeから見るができます。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

伝えたいことが誤解なく伝わるように、事前に原稿を作ってチェックしました。当日は、その場で質問に答える場面もありましたが、「当事者としての生の声を、分かりやすく届けよう」と頭をフル回転させ、言葉や話の流れを考えながら話しました。シンポジウム終了後には多くの方々から「義務教育でそんなことが起こっているなんて、驚きだった」「辛い経験から立ち直って声を上げている姿に勇気もらった」などの感想を頂きました。



困難だったこと/次回に活かすこと

シンポジウムの様子はYouTubeで全世界に公開されるため、誰にとってもわかりやすく、誤解なく伝えるように配慮して話をする必要がありました。少しの言い回しの違いでニュアンスが大きく変わることにも気をつけながら、自らの経験と、これからの教育、こども家庭庁に期待することを述べるのが難しかったです。また、シンポジウムの中ではもちろん、終了後も、こどもに寄り添う活動をされている方々のお話を伺えました。今回出会えた方々の意見からも学び、自分の考えを深めて、次回の活動に活かしたいです。



これからアクションを起こす人へメッセージ

変化を起こそうとして一歩踏み出すときには、戸惑いや不安、緊張もあると思います。しかし、勇気を出して飛び込んでみれば、ワクワクするような新しい景色があなたを出迎えてくれることでしょう。たった一つの小さなアクションでも、私達に素敵な経験と学びを提供してくれるはず。たった一つの小さなアクションにも、社会を少しでも美しい場所にする力があるはず。そう信じ、共に行動を起こしましょう！

FREE THE
CHILDREN

香港兒童
基金會

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

物資調運



名前/グループ名/グループメンバー

桜丘中学校さくらフェスティバル委員会

人数

34 人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

食品ロス

アクションの種類 物資調達

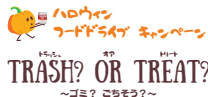
支援先

実施期間 2023年9月26日～2023年10月8日



取り組んだアクション

世田谷区立桜丘中学校のPTA行事「さくらフェスティバル」に於いて在校生のご家庭に残っている食品を募りました。想定以上に集まりました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

食品回収・寄付

20.996 kg



工夫したことや達成したこと

フードドライブという事を知ってもらう為にポスターを作成したり、さくらフェスティバル当日も寄付していただいた食品の一部を展示し多くの方々に観ていただきました。



困難だったこと/次回に活かすこと

困難であったことは特にありませんでした。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分で感じている以上に各ご家庭に余っている食品は眠っているように思います。呼びかける事で多くの方にご協力いただけたと思います。

名前/グループ名/グループメンバー

ひよこ

人数

1 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

子どもの貧困問題

アクションの種類 物資調達

支援先

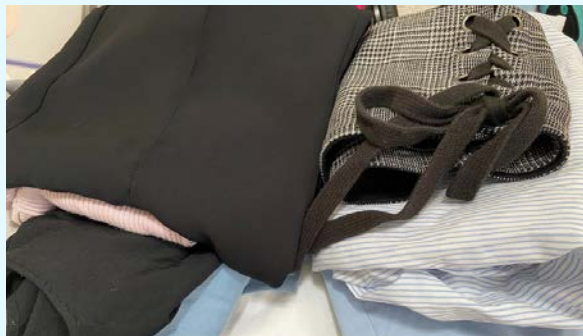
実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

サイズアウトした子供服などを児童館などで行われているお下がり交換会に出した。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

1 時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

綺麗に洋服をたたむ。使う人がいい気分になるように。



困難だったこと/次回に活かすこと

困っている人に渡すという実感がすごく感じることができ、これからも不用品などは寄付してみたりその寄付した服の買取額が子どもの貧困対策のお金に使われるためにも続けていきたい！



これからアクションを起こす人へメッセージ

簡単なことから始めるのも大事なことです。自分の出来ることから始めてみよう！！

名前/グループ名/グループメンバー

はん

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ファッション関連企業のサステナブルな活動への参加

アクションの種類 物資調達

支援先

H&M

実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

家にある着ない洋服を集めて寄付をする団体を決めた



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

ほぼ着ずにそのままになっていた服や、使用品でも綺麗なものを選ぶように心がけました。



困難だったこと/次回に活かすこと

古着を回収している団体を探すことが難しかった。



これからアクションを起こす人へメッセージ

欲しいものをただ買うという行為が環境破壊に繋がる原因になってしまうこと知り、一緒に何にお金を費やし、どのように消費するのかをちゃんと考えていきましょう！そして、もし不要になってしまった服があれば捨てずに寄付する団体を調べてリユースできるような取り組みをしていきましょう！

名 前 / グループ名 / グループメンバー

昭和学院中学校・高等学校

人数

54 人

活動地

千葉県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

食品ロス

アクションの種類 物資調達

支援先

市川フードバンク

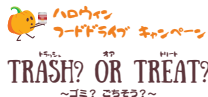
実施期間

2023年10月23日～10月28日



取り組んだアクション

- ・集める食べ物を回収する箱を作成したこと
- ・美術部に依頼してポスターを作成してもらった
- ・市川学園市川中学校・高等学校と日出学園中学校・高等学校にも声をかけて同時開催したこと
- ・学校の校内放送で呼びかけたこと
- ・生徒・保護者へGmailで呼びかけたこと



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

食品回収・寄付

30.7 kg



工夫したことや達成したこと

近隣校である市川学園市川中学校・高等学校さんと日出学園中学校・高等学校さんにも声をかけて、同じタイミングでフードバンク活動をやったことで、一体感も生まれ、活動のインパクトを強くすることもできたし、無理のない範囲で協働できたこと。

美術部にお願いをしてポスターを作製したことで、自分たちでは絶対にできないクオリティのポスターができて人目を引くことができたし、より多くの人を巻き込むことができたこと。6月に実施したフードバンク活動をまた実施したことで、だんだんと校内での認知を増やすことができたこと。



困難だったこと/次回に活かすこと

- ・6月に実施した時は100kg近い食品が集まったのに、今回は30kgと半分にも達しなかったのはなぜか気になっている。
- ・校内での認知をどうしたらもっと高められるか。



これからアクションを起こす人へメッセージ

とにかくやってみよう。

やりたいって言えば一緒にやってくれる仲間はきっと現れる。探してみよう、その仲間を。

名前/グループ名/グループメンバー

市川学園 インターアクト同好会

人数

15 人

活動地

千葉県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

食品ロス

アクションの種類 物資調達

支援先

フリースタイル市川

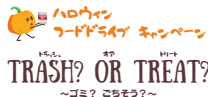
実施期間

2023年10月28日～10月30日



取り組んだアクション

今回本校で3回目のフードドライブとなりましたが全校生徒数に対して少し集まった食品が少ないかなと感じる結果となりましたが、後輩たちまでこの活動を続けて大きな活動をするきっかけになれば、バトンを渡せたらと考えています。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インバクト人数

人

◆ その他

食品回収・寄付

27.6 kg



工夫したことや達成したこと

校内放送
ポスター掲示
LINE宣伝
Classi宣伝



困難だったこと/次回に活かすこと

宣伝しても忘れられてしまうので保護者が来校する際などに今度は行ってみたい。
また、集める食品を限定して分かりやすくしてみたい。



これからアクションを起こす人へメッセージ

やるべき事は周りに沢山ありますが、それを実際にみつけ、活動をやりきることは少なからず困難が付きます。1人でやれば尚更大変です、まず1番大切なことは同じ志を持った仲間を見つけることです。

名前/グループ名/グループメンバー

日出学園中学校・高等学校 FLYERS

人数

39 人

活動地

千葉県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

食品ロス

アクションの種類 物資調達

支援先

市川市役所

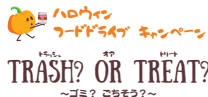
実施期間

2023年10月23日～10月30日



取り組んだアクション

8人の仲間（中学・高校生）と共に学校内でのフードバンクに取り組みました。言うことは簡単ですが、実施するうえで多くのことを人にお願いしたりなど大変なことがいくつかありました。これに挫けず今後も1歩1歩前進していきたいと思います。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

食品回収・寄付

3.9 kg



工夫したことや達成したこと

学校の玄関にわかるようにして友だちに知らせました。また、各教室にオリジナルのポスターを掲示してもらいました。



困難だったこと/次回に活かすこと

寄付する気持ちがあっても、学校まで持ってくるのに苦労するからという声を聞き、今後は回収に行くなどをしていこうと考えている。



これからアクションを起こす人へメッセージ

必ず問題はおきます。それを考えると実施できなくなりがちですが、まずは第1歩を踏み出してみてください。皆が協力してくれるはずです。

NPO法人せたがや子育てネット

人数

8人

活動地

東京都

区分

その他



取り組んだ社会課題

食品ロス

アクションの種類 物資調達

支援先

せたがやこどもフードパントリー

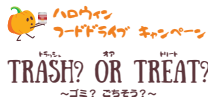
実施期間

2023年10月



取り組んだアクション

おうちで余った分をプレゼントしよう！と呼びかけ。
乳幼児向けのミルクや離乳食が集まりました。



数値的成果

◆お金の寄付

円

◆物の寄付

個

◆ボランティア時間

時間

◆インパクト人数

人

◆その他

食品回収・寄付

2.8 kg

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、毎年10月に
ハロウィン・フードドライブキャンペーンを開催しています！

=====

【2023年 キャンペーン結果】

参加人数：369人

食料回収量：429.225KG

=====

ハロウィンでおなじみの10月は、
実は「世界食料デー月間」や「食品ロス
削減月間」などに指定されている、食料
について考える月となっています。

食べ物がゴミになる前に、
誰かのごちそうにしようという願いを込めた
「TRASH? OR TREAT?(トラッシュ オア トリート)」を合言葉に、
フードドライブに取り組んでみませんか？



FREE THE
CHILDREN

香港兒童
基金會

CHANGE
MAKERS
FES

Social Action Report

自己行動變革



名前/グループ名/グループメンバー

m

人数

1 人

活動地

東京都

区分

中学生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

環境問題

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間 2023年12月10日～2023年12月16日



取り組んだアクション

環境破壊の問題は、世界で大きな問題である。しかし具体的に、身近で何ができるかと言ったら、あまり例が思いつかなかった。日本人は、プラスチックのパッケージを多く捨てていることを知り、今回プラスチックのゴミを出さない生活を一週間した。そして、それが日常生活で実践可能なのか検証した。1週間過ごしてみて、プラゴミが出ない商品を探し、お菓子類は紙パックの商品が多く見つかった。しかし、ほかの商品で紙素材のパッケージなどを使った商品をあまり見ることがなかった。私は、今回個人として検証し、1週間という短い期間でノーブラ生活を達成することができたが、家族などの大人数で長期間実践するのはかなり難易度が高くなってしまっているのではないかと感じた。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

約20 人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

このアクションが、誰でも実践できるかを考えて、様々なお店やインターネットで情報を集めながら、検証した。



困難だったこと/次回に活かすこと

個人で行うぶんには、簡単であったが、家族という大きな枠組みでやるには、各自で日常のどの部分で、プラスチックを減らせようか考えていかなければならないのではないかと感じた。



これからアクションを起こす人へメッセージ

実際に、調べたりやって見ることで、見えてくる世界があります。先入観で物を見てみると、意外と自分の考えと事実が異なっている場合があります。常に疑問を持ったり、自分自身で何かできることはありそうかを考えると、視野が広がっていくと思います。頑張ってください。

名前/グループ名/グループメンバー

エレナ

人数

7 人

活動地

沖縄県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間 2023年1月1日～2023年 6月13日



取り組んだアクション

1週間、他のアジアの国の人々とプラスチックを使わないチャレンジをした。植物を植え、育てた

EPAS

Exchange Program
for Asian Students

令和4年度アジア高校生オンライン国際交流事業報告書

2022

沖縄県教育庁
県立学校教育課

数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インバクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

工夫したことは、プラスチックをなるべく使わないようにするかや使ったとしてもリサイクルの仕方など話しあった。植物を植え育てることは参加した全員が達成出来た。



困難だったこと/次回に活かすこと

アジアの国の人々と言っても母国語が英語の子が多く、喋れない私と友達は英語を聞き取ることに精一杯だった



これからアクションを起こす人へメッセージ

私もプラスチックをなるべく使わないとか小さなことしかやっていないけどやって良かった、継続していきたいなと思ったのでアクションをしたいと思ってる時点で地球温暖化に貢献していると思うのでどんなに小さなことでもどんどんチャレンジしてください！

名前/グループ名/グループメンバー

ゆー

人数

2 人

活動地

東京都

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

地球温暖化、貧困問題

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

ホストマザー(canada)と一緒に地球温暖化と貧困問題の解決策について話した。

<地球温暖化問題について>

・一人ですることには限界がある

↓

大きな会社などの単位で解決に動く必要がある

(政府が会社向けに援助する必要も)

↓

しかし、真剣に取り組む大人はまだ少ない

重大さをもっと多くの大人に知ってもらわなければならない

政府や会社に訴える

<貧困問題について>

・寄付や募金をする

・政府が国単位、地域単位でサポート

↓

政府へ呼びかける

・お金の価値をそろえる

↓

政府の力が必要

数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

自分なりの答えを導き出すことが出来ました。



困難だったこと/次回に活かすこと

英語で社会問題という難しい議題を話すことが大変でした。話の内容を全て完璧に理解することは出来なかったけど、良い経験になりました。



これからアクションを起こす人へメッセージ

思っていたよりも簡単に出来ることが沢山あるので積極的に取り組んでみてほしいです。

名前/グループ名/グループメンバー

はるか

人数

1 人

活動地

群馬県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

農業と地域経済の衰退

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間

2023年6月18日



取り組んだアクション

地産地消（地元で生産された食品の消費行動）の取り組みをしました。群馬県に住んでいるので群馬県産のレタスを使ってサラダを作りました。グローバル化によって地元の農業や地域経済の衰退という社会問題を考慮し、農家の方や事業者、さらに地域活性化を目的にアクションを行いました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

今後も積極的に地産地消の取り組みを行いたいと思いました。地産地消を一度やって終わりにするのではなく、持続的に行うことによって地域の活性化につながる可能性があるからです。実際にオンラインや遠いスーパーに行くと、費用がかかるほか、トラックや乗用車等から二酸化炭素が排出されることによって温暖化の進行につながります。これからも地域の食品、あるいは商品を購入していきたいと考えています。



困難だったこと/次回に活かすこと

人に啓発することが重要だと考えます。最近はSNSが普及されていることから、身近な人以外にも、直接会ったことのない全く知らない人と繋がることができます。投稿で「伝える」ということをすれば、それを見た人のマインドも変わると思います。



これからアクションを起こす人へメッセージ

「地産地消」という取り組みは、他人への協力や連携が必要だと思っています。1人が地元の食品や商品を購入しても、農業と地域経済の衰退を解決することは非常に難しいと考えています。地元の生産者や事業者の利益が増えない限りそれができないからです。例えば「地元にはこういう野菜が売られているんだよ」という風に開発することによって、

名前/グループ名/グループメンバー

わっしー

人数

4人

活動地

栃木県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

水質汚染による衛生問題

アクションの種類 自己行動変革

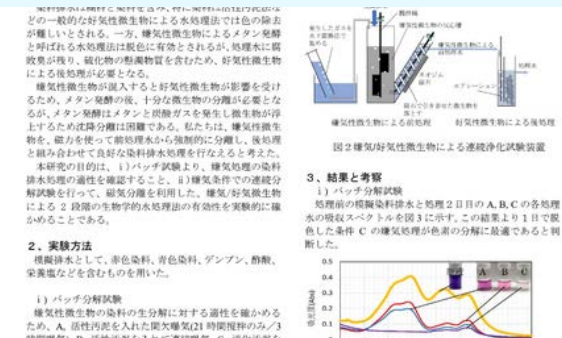
支援先

実施期間 2023年4月1日～2023年4月31日



取り組んだアクション

使用後の水（下水）が処理されないことが原因で起こる衛生問題を解決するために、簡単に処理ができる技術の研究を行った。特に洋服に色を付ける際に出る染料排水は、環境に悪影響を及ぼすにも関わらず、処理をする方法が少ない現状にある。そのため、染料排水に焦点を当てて、染料排水が分解できるシステムの研究を行った。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

処理の方法を工夫することで、分解不可能であった染料排水を分解することができた。



困難だったこと/次回に活かすこと

毎日の微生物の測定や、対照実験にするための条件をそろえるところなどが、誤差を少なくするためにとても気を張った。



これからアクションを起こす人へメッセージ

やりたい! という想いを伝えるところから始まるアクションがあります。自分一人では難しいことでも、やりたいということを周囲に伝えていけば、いつしか、できる環境が整ったり、協力してくれる人が集まってくれます。まずは、何をやりたいのか、探すところから始めてみましょう!

名前/グループ名/グループメンバー

I.G

人数

1人

活動地

神奈川県

区分

高校生/高専生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ヤングケアラー・子どもの貧困・教育格差

アクションの種類 自己行動変革

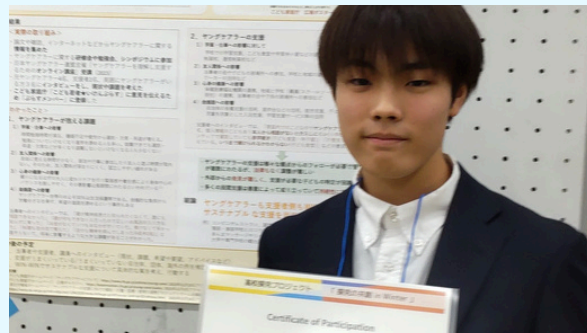
支援先

実施期間 2022年1月30日～2023年12月17日



取り組んだアクション

ヤングケアラーに関する理解を深め、効果的な支援を考えるためにヤングケアラーについて探求した。東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 高校探究プロジェクト主催の教育研究発表会で探求の成果を報告し、大学教授や全国の高校教員、高校生から貴重なフィードバックを得た。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インバクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

コロナ禍の自粛期間中に探究活動を開始したため困難もあったが、シンポジウムや勉強会がオンライン開催になったりアーカイブ視聴が可能となったことで本来であれば高校生の自分には参加が難しかった企画に参加できるなどの利点もあった。そうしたオンライン企画にも積極的に参加したことが探求を深めることにつながった。



困難だったこと/次回に活かすこと

実際のヤングケアラーや元ヤングケアラーの方に連絡を取ったりインタビューを行う際は、当事者の方に失礼にならないよう配慮した。また、個人情報にも気を付けている。



これからアクションを起こす人へメッセージ

アクションには主体的に取り組むべきだと思いますが、どのように最初のアクションを起こしたらよいか悩んだ時や困った時は周囲に相談をしてみることも必要だと思います。

名前/グループ名/グループメンバー

難民や貧困に関心を持ち行動する学生

みわ、ゆり

人数

11人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

シティズンシップ教育

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間 2023年3月25日～2023年3月26日



取り組んだアクション

「社会課題に興味はあるけど、どのように行動したらよいかわからない…」
 「社会を変える行動をしているものの、なかなか輪が広がらない…」といった思いを持つユースを対象に、「社会を変えたい」という思いを育み、活動をしていくためのスキルを身に着ける合宿を開催しました。1日目は社会問題に関心を持ち行動をしているきっかけについて分かち合い、社会を変えるとはどのようなことかについて学ぶとともに、自分自身のアイデンティティと向き合うアクティビティを経て、特権や交差性について考えました。その後、社会の不条理に直面した時に声を上げにくい状況を演劇を通して体験しました。2日目は、食の不正について体感するワークや、痛みの回復の手法として共感的コミュニケーションを実践し、最後に1年間のアクションプランを立てて終了しました。



数値的成果

◆ お金の寄付

円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

イベントでは最初に誰もが安心して対話に参加できる空間を作るため、安心の場づくりを行ったり、互いに学びあうという価値観を共有しました。また、「あなたは社会を変えることができると思うか」という問いをはじめ、多くの問いが投げかけられ、対話をしながら社会問題に向き合うことについて考えました。最後のアクションプランでは、特に自分自身の社会問題との向き合い方について言及する参加者が多く見受けられ、一人ひとりが自身と社会問題を結び付けて行動していくことにつながると思います。



困難だったこと/次回に活かすこと

参加者が大学新2～4年生であり、大学生という属性の参加者だったため、キャンパス内での活動などその属性によりフォーカスしたワークを取り入れると実践につなげやすかったのではないかと考えます。また、高校生や学校に通っていない同世代など多様な属性の人に参加してもらうことで、特権や交差性についての実感や理解が深まったのではないかと考えます。



これからアクションを起こす人へメッセージ

自分自身がどのように行動するかという点もちろんのこと、活動する周りの仲間たちがどのような悩みを抱え、活動をする上での課題に直面しているかを想像し、互いにエンパワメントしていくことも大切かと思っています。対外的なイベントという形だけでなく、活動しているグループ内でもそういった視点が取り入れられると、よりインパクトのある活動にアプトプットされていくのではないかと思います。

名前/グループ名/グループメンバー

だいご

人数

1人

活動地

東京都

区分

大学生/大学院生

関連するSDGs



取り組んだ社会課題

ペットボトル問題

アクションの種類 自己行動変革

支援先

実施期間 2023年6月18日



取り組んだアクション

ペットボトルを市のリサイクル協定のところに捨てに行った。マイボトルを買う時に、購入した金額が環境問題解決に寄付される団体の商品を購入した。



数値的成果

◆ お金の寄付

12,972 円

◆ 物の寄付

個

◆ ボランティア時間

時間

◆ インパクト人数

人

◆ その他

その他の数値



工夫したことや達成したこと

今回だけでなく、今後も続けていくことができる活動をしました



困難だったこと/次回に活かすこと

自分の活動のみでは、なかなか今すぐに貢献出来なかったもので、少しずつ小さいことを積み重ねて大きな貢献ができるようにしたい



これからアクションを起こす人へメッセージ

誰でもどこからでもできることがあると思うので、頑張ってください

はじめてみよう、あなたにできること

アクションキット

アクションを起こすヒントがつまったキットを活用して世界に変化を起こそう！

**社会問題を解決するためにアクションを起こしたい！
でも何からはじめよう？ アクションプランをゼロから自分で
考えるのは自信ないな・・・と悩んでいませんか？**

FTCJでは、何かしてみたいけどどうしたらよいか分からない、という皆さんのために、
すぐにアクションを起こせるよう、様々なアクションキットを用意しています。

ソーシャルアクションレポートに掲載されたみんなの活動も、
第一歩はここから 始まったものもたくさん！
無料のキットを利用して、みんなで力を合わせて世界に変化を起こしていこう！
アクションキットは、FTCJのウェブサイトからダウンロードできます。



アクションキット

<https://ftcj.org/we-movement/weactioncampaigns>

活動のヒント

<https://ftcj.org/hints>



ソーシャルアクションレポート 2023-2024 (2024年7月1日発行)



認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5-3F MAIL info@ftcj.org TEL 03-6321-8948